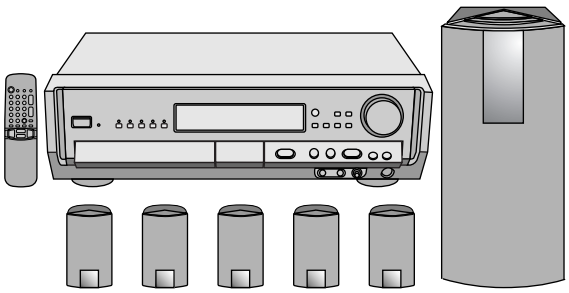
Panasonic



DVD ホームシアターサウンドシステム
取扱説明書

品番 SC-HT80

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、DVD ホームシアターサウンドシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

RQT5201-1S

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD のソフトと機器に割り当てられた番号です。

- **本機のリージョン番号は「2」です。**
- **本機は「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。**

ディスクについて

○ 本機で再生できるディスク

dts で記録された音声を再生するには、別売りのデコーダーが必要です。
特に、CD に記録された dts の信号を再生しようとすると、スピーカーから雑音が聞こえます。

× 本機で再生できないディスク

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれない DVD ビデオディスク
- DVD オーディオディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-R
- DVD-RAM
- DVD+RW
- CD-ROM
- VSD
- CDV
- CD-G
- CD-RW
- CVD
- SACD
- SVCD
- CD-R
- フォト CD　　など

本書で使用しているディスク記号について

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。
本書では以下の記号を用いて、その説明箇所に当てはまるディスクを表わしています。

DVD　DVD で楽しめる機能です。
VCD　ビデオ CD で楽しめる機能です。
CD　音楽 CD で楽しめる機能です。

ディスクによっては、これらの記号が付いている操作でも、できないものがあります。

安全上のご注意 …… **4**
付属品 …… **6**
リモコンの準備 …… **6**
DVD ビデオディスクの表示について …… **7**
カラオケディスクについて …… **7**
接続と設定 …… **8**
●スピーカーコードにシールを貼る……8
●スピーカーにゴム足を貼る……8
●スピーカーを設置する……8
●スピーカーと本機を接続する……8
●アンテナ、テレビ、電源コードを接続する……10
●テレビ画面の設定……11

映画や音楽を楽しむ …… **12**
カラオケを楽しむ …… **14**
●カラオケモードを使う……16
●音に効果を付ける……17

いろいろな再生 …… **18**
●止めた位置から再生する……18
●一時停止 (静止) する……19
●早送り/早戻し……19
●場面や曲を飛び越す……19
●コマ送り/コマ戻し再生……20
●スロー再生……20
●リピート機能……21
●好みの場所を記憶する……22
●タイトルメニューを使う……23
●DVD メニューを使う……23
●音声の変更……24
●字幕言語の変更……25
●アングルを使う……25
●好きなトラックから再生する……26
●ランダムに再生する……26
●プログラム再生する……27
●ディスクマネージャーを使う……27

GUI 画面を使う …… **28**
●GUI 画面の絵表示について……30

ラジオを聞く …… **32**
●放送局を記憶させる……34
●記憶させた放送局を聞く……35

音場効果を出す …… **36**
●本機内蔵の音場効果について……36
●ドルビーデジタルを楽しむ……38
●ドルビープロロジックを楽しむ……39
●スーパーサラウンドを楽しむ……39
●シミュレーテッドステレオを楽しむ……39
●MIX 2ch にする……39
●バーチャルリヤサラウンドの効果を出す……40
●マルチリヤサラウンドの効果を出す……40
●シートポジションを使う……41
●センターフォーカスの効果を出す…41
●SFC の効果を出す……41

タイマーを使う …… **42**
便利な機能 …… **43**
外部機器の接続 …… **44**
外部機器の操作 …… **46**
基本設定について …… **48**

各部のなまえ……**54**
使用上のお願い……**56**
主な仕様……**57**
用語解説……**58**
お電話の前に1度ご確認を
Q & A (よくあるご質問)……**59**
故障かな!?……**60**
保証とアフターサービス……**62**

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

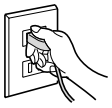
- 感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる

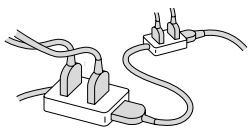
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

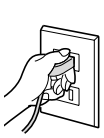


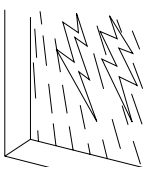
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止





- 感電の恐れがあります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

以下のことを守り正しく設置する

- **不安定な場所に置かない**
- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

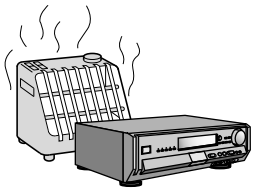
付属のスピーカー以外は接続しない

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



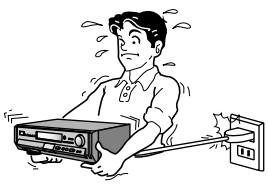
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

使用方法

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

- 倒れてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

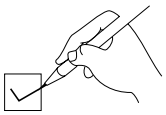
乾電池

以下のことを守り正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない。**

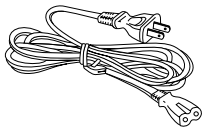
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品

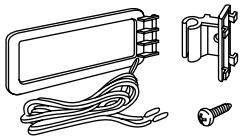


設置・接続のまえに、まず付属品を確かめてください。

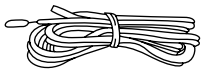
□ 電源コード .....1 本
(品番：RJA0059-J)



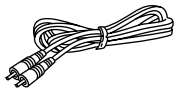
□ AM ループアンテナセット .....1 組
(品番：RSA0012)



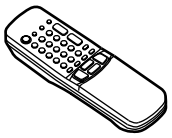
□ FM 簡易型アンテナ .....1 本
(品番：RSA0006-J)



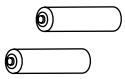
□ ビデオコード .....1 本
(品番：RJL1P007B20)



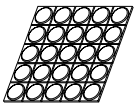
□ リモコン .....1 個
(品番：EUR51963)



□ リモコン用単 3 形乾電池 .....2 個

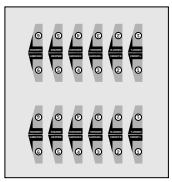


□ スピーカー用ゴム足 .....1シート (25 個)
(品番：RFA0631A-K)



※買い替え時のサービス供給品は 1 シート (4 個) です。

□ スピーカー用シール .....1 シート (2 組)

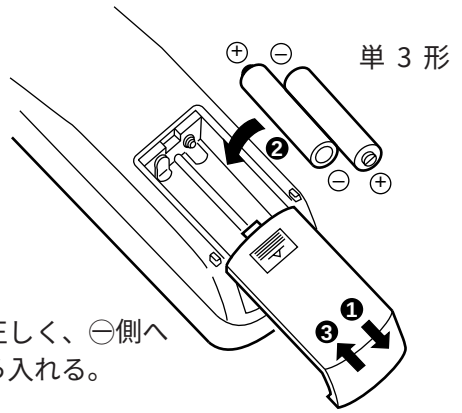


※1 組を予備として、お使いください。サービス供給品はありません。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ ( ) 内は買い替え時の品番です。

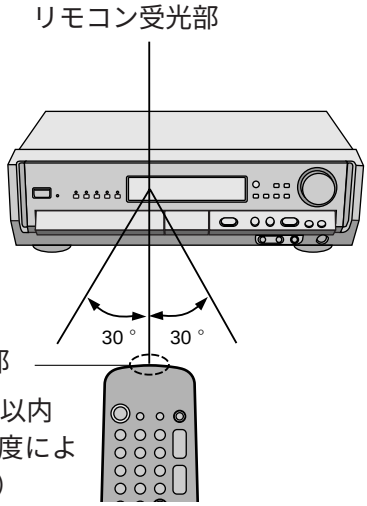
リモコンの準備

乾電池の入れかた



⊕と⊖を正しく、⊖側へ押しながら入れる。

リモコンの使いかた



正面で約 7 m 以内
(使用範囲は角度により異なります。)

正しく送信するために

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

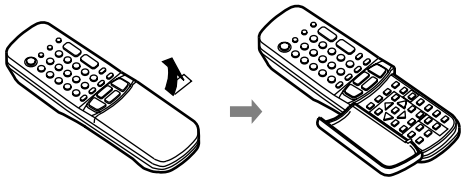
故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき

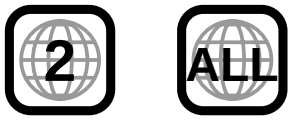
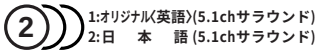
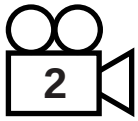
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

リモコンのふたの開けかた



DVD ビデオディスクの表示について

DVD ビデオディスクの裏には、次のような表示があります。

リージョン番号 	著作権保護のために設定された地域限定番号です。 ディスクの番号と機器の番号が一致していないと再生できません。 本機で再生できるディスクは「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」の表示のあるディスクです。
音声トラック数 **音声記録方式** 	数字は音声トラックが何種類記録されているかを表わしています。右側に記載されているのは、そのトラックに収録されている言語と記録方式です。 表示例は、英語と日本語の 2 種類の言語の記録があり、それらが、Dolby Digital 5.1 チャンネルで記録されていることを表わしています。 dts と表示されている音声を再生する場合は、本機の光出力端子に別売りのデコーダーを接続する必要があります。
字幕 	収録されている字幕の数と、その言語を表わします。 表示例は、日本語字幕と、英語字幕の 2 種類で記録されていることを表わしています。
マルチアングル 	マルチアングルのディスクであることを表わしています。また、数字は、何種類のアングルで記録されているかを表わします。
画面サイズ 	どのような画面サイズで記録されているかを表わします。 4：3 画面サイズで記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビでは左右をカットした 4：3 の画像を楽しめるように記録されています。

カラオケディスクについて

このとおりに構成されていないディスクもあります。

DVD 5ch	
	音声番号 (ストリーム) 1
1ch	ステレオ伴奏 (左)
2ch	ステレオ伴奏 (右)
3ch	ガイドメロディー (ボーカル部のメロディーライン)
4ch	模範歌唱 1
5ch	模範歌唱 2

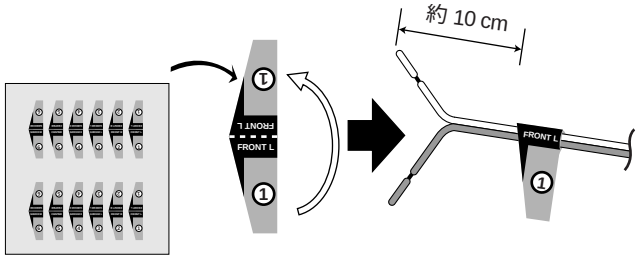
DVD 2ch		
	音声番号 (ストリーム)1	音声番号 (ストリーム) 2
1ch	ステレオ伴奏 (左)	ステレオ伴奏 (左)+模範歌唱
2ch	ステレオ伴奏 (右)	ステレオ伴奏 (右)+模範歌唱

ビデオ CD など	
1ch	モノラル伴奏
2ch	モノラル伴奏 + 模範歌唱

※別添チラシ “ スピーカーの設置と接続について ” もご覧ください。

1 スピーカーコードにシールを貼る

小さいスピーカーは 5 つとも同じ大きさ、同じ性能です。



付属のシールを貼る。

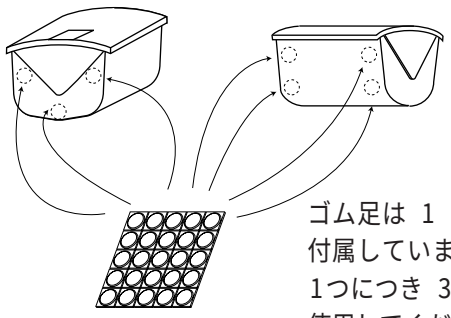
①〜⑤：小さいスピーカーに
(フロント×2、サラウンド×2、センター×1)

⑥　：大きいスピーカーに
(サブウーハー)

2 スピーカーにゴム足を貼る

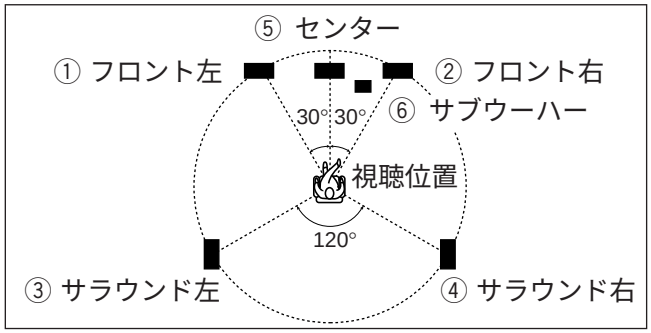
小さいスピーカーは縦横どちらでも設置できます。
各スピーカーとも振動による移動や転倒を防ぐため、設置する方向の底面にゴム足 (付属) を貼ってください。

縦のとき　横のとき



ゴム足は 1 シート (25 個) 付属しています。スピーカー 1つにつき 3〜4 個の割合で使用してください。

3 スピーカーを設置する



①〜⑥ のシールを貼ったスピーカーが上の図のような位置になるように設置してください。

※ 視聴位置からフロント/センター/サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度はあくまでも目安です。

フロントスピーカー (①, ②) は、
テレビの左右に
センタースピーカー (⑤) は、
テレビの真上に
サラウンドスピーカー (③, ④) は、
視聴位置の左右（横またはやや後ろ）に、耳の位置より 1 m ほど高く
サブウーハー(⑥)は、
テレビから大きく離れない程度の適当な位置にそれぞれ設置してください。

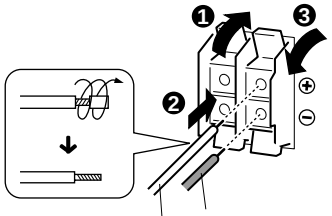
お知らせ

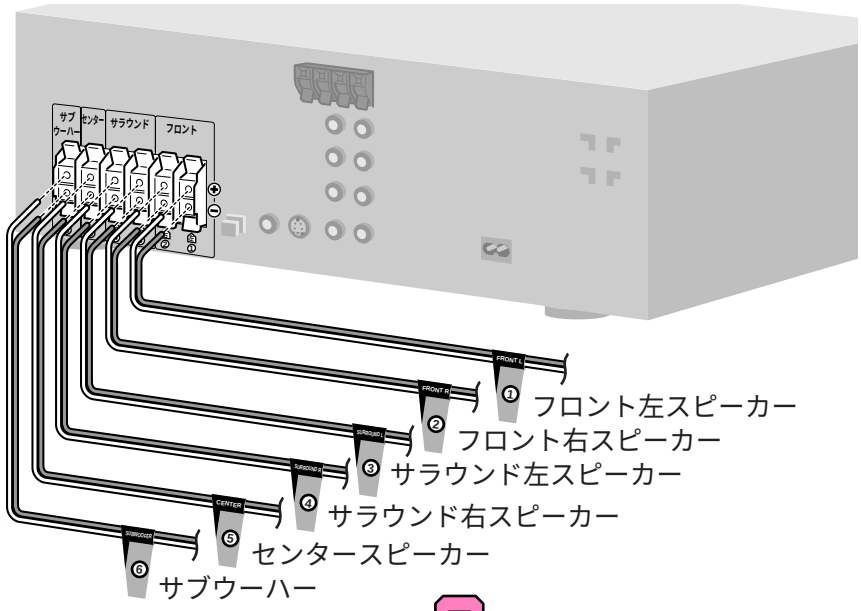
- サラウンドスピーカーを設置する場所がないときは、フロントスピーカーに並べて設置することもできます。(バーチャルリヤサラウンド⇒ 37 ページ)

4 スピーカーと本機を接続する

スピーカーコード
(スピーカー直出し)

- シールの番号と本機の後面の番号が一致するように接続する。
- 左、右と㊉、㊀を正しく接続する。
- 芯線は、ショートしないよう奥までしっかり差し込む。



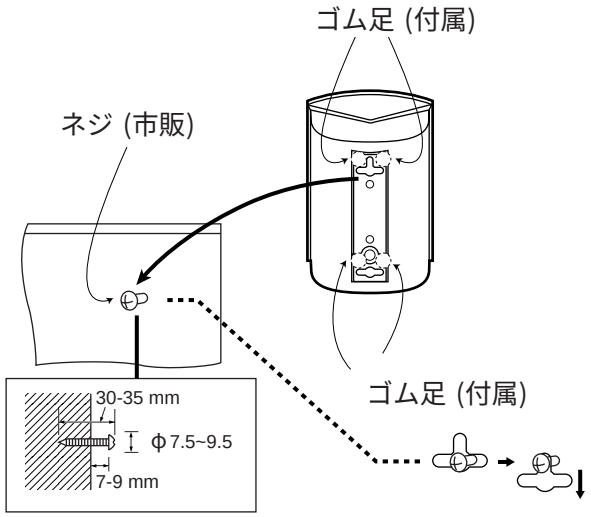


お願い

- スピーカーコードの配線処理は確実に行ってください。スピーカーコードは 10 m あります。設置場所や設置方法によってはコードにゆとりができます。余ったコードは、束ねてひもでくくるなどして、邪魔にならないようその処理には十分ご注意ください。

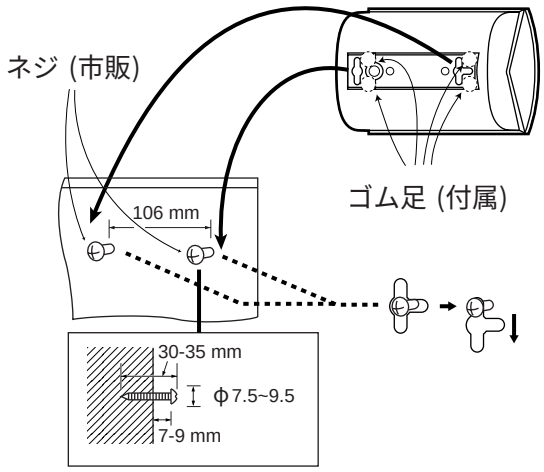
壁に取り付ける

縦向きに取り付けるときは



※ゴム足 (付属) はネジを引っかける穴に沿って穴をふさがないように4ヶ所に貼ってください。

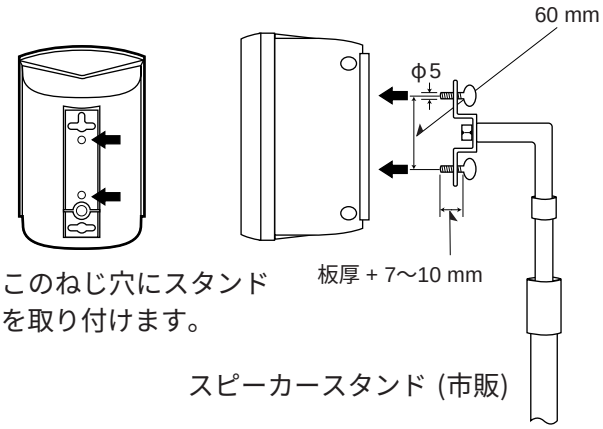
横向きに取り付けるときは



お願い

- 壁に取り付ける場合は、壁に、5 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。くわしくは施工者の方などにご相談ください。

スピーカースタンドに取り付ける



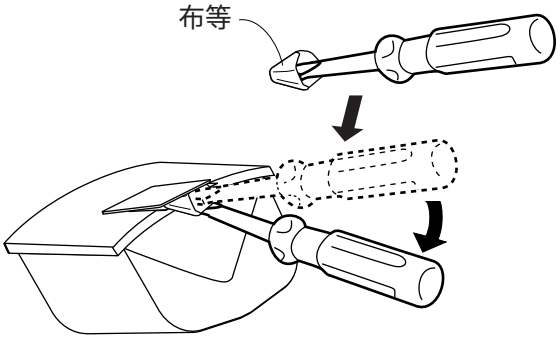
お願い

スピーカースタンドをお買い求めの際は、下記の点をご確認ください。

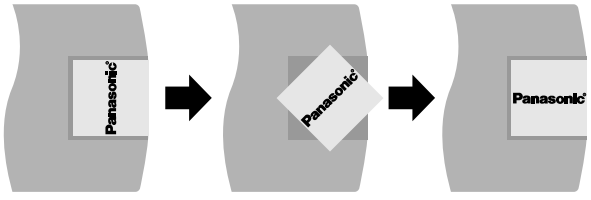
- スピーカーを取り付けるためのネジの径および長さ、ネジとネジとの間隔が左の図を満たしていること。
- 5 kg 以上の重量に耐えうる強度を有していること。
- スピーカーの位置を高くしても、安定した設置が可能であること。

ブランドのプレートの向きを変える

小さいスピーカーを横に向けて設置するときは、Panasonic のブランドのプレートを水平になるように回転させることもできます。



(傷が付く恐れがあります。マイナスドライバーの先に布等を必ず巻いてから行なってください。)
ブランドのあるプレートの下にマイナスのドライバーを差し込みプレートを浮かせます。プレートを浮かせたら、手でプレートごと回転させてください。



お願い

- 落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきなどのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

お知らせ

- スピーカーネットは取り外しができません。

アンテナ、テレビ、電源コードを接続する

※ダイレクト DVD ボタンを使用する場合はテレビの“ ビデオ 2 ”入力端子に接続してください。(⇒ 47 ページ)

テレビ (別売り)

後面例

S映像入力　S映像出力
映像入力　映像出力
音声出力 左 右

FM 簡易型アンテナ(付属)
放送局を受信 (⇒ 33 ページ) してみて、雑音が少ない位置に取り付ける。

セロハンテープなどで、
壁や柱に固定

AM ループアンテナ(付属)
放送局を受信 (⇒ 33 ページ) してみて、雑音が少ない位置と角度に調整する。

① ② ③

AM ループアンテナホルダー(付属)

壁や柱に取り付けるときは

ネジ
(付属)

本機でテレビの音声を楽しみたいときは
ステレオピンコード
[別売り：
品番 RP-CAP3G10 (1 m) など]

FM アンテナ
AM アンテナ
テレビ (TV) 音声入力
ループアンテナホルダー
AC 入力~
映像出力
S映像出力
右 左

ビデオコード(付属)

より高画質で楽しみたいときは
S 映像コード
[別売り：品番 RP-CVS0G10 (1 m) など]

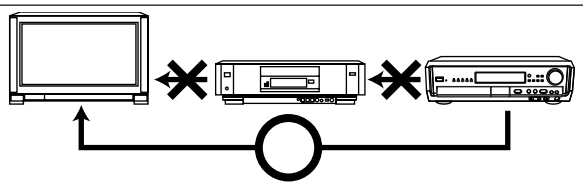
ステレオピンコードと S 映像コードが 1 つになった [別売り：品番 RP-CVS3G10 (1 m) など] もあります。

電源コード (付属)
最後に接続する。

家庭用電源コンセント
(AC 100 V　50/60 Hz)

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

お願い
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
ビデオデッキなどを通すと、コピーガードの影響を受け、再生時に画面が乱れることがあります。

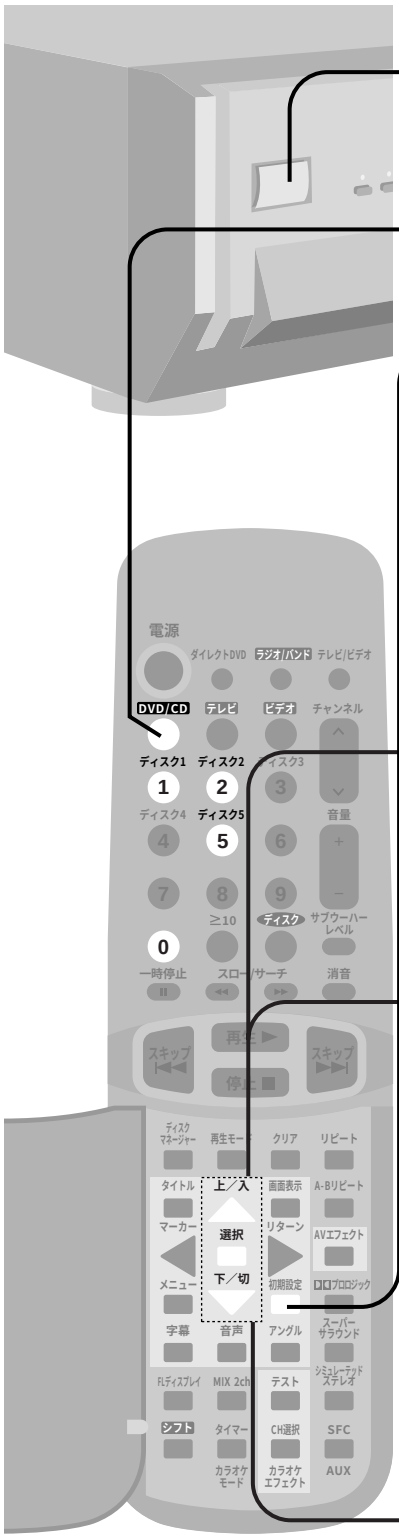


テレビ画面の設定

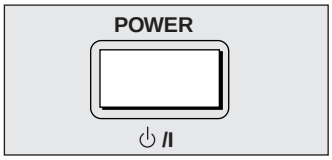
ご使用のテレビの種類により、画面のサイズの設定をします。
初期設定は従来のテレビ (4：3) になっています。4：3 のテレビをお使いの場合はこの設定は不要です。

準備

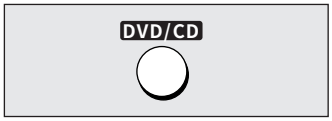
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビも入力を切り換える。(ビデオ 2 など)



1 押して
電源を入れる

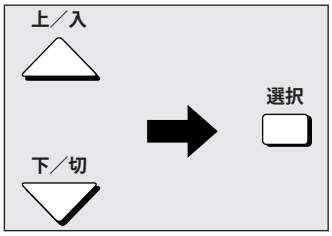


2 押して
“ DVD/CD ”を選ぶ

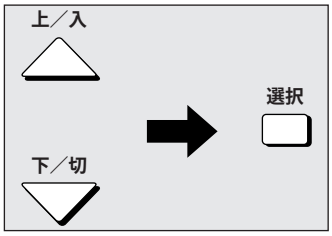


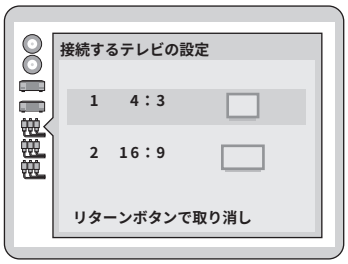
3 押してテレビに
初期設定画面を表示させる

4 押して
“ 5 接続する TV ”を選ぶ

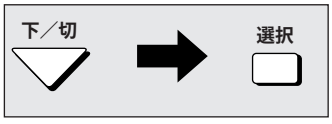


5 押して
サイズを選ぶ
4：3　従来のテレビ
16：9 ワイドテレビ
設定後は、初期設定画面に戻ります。





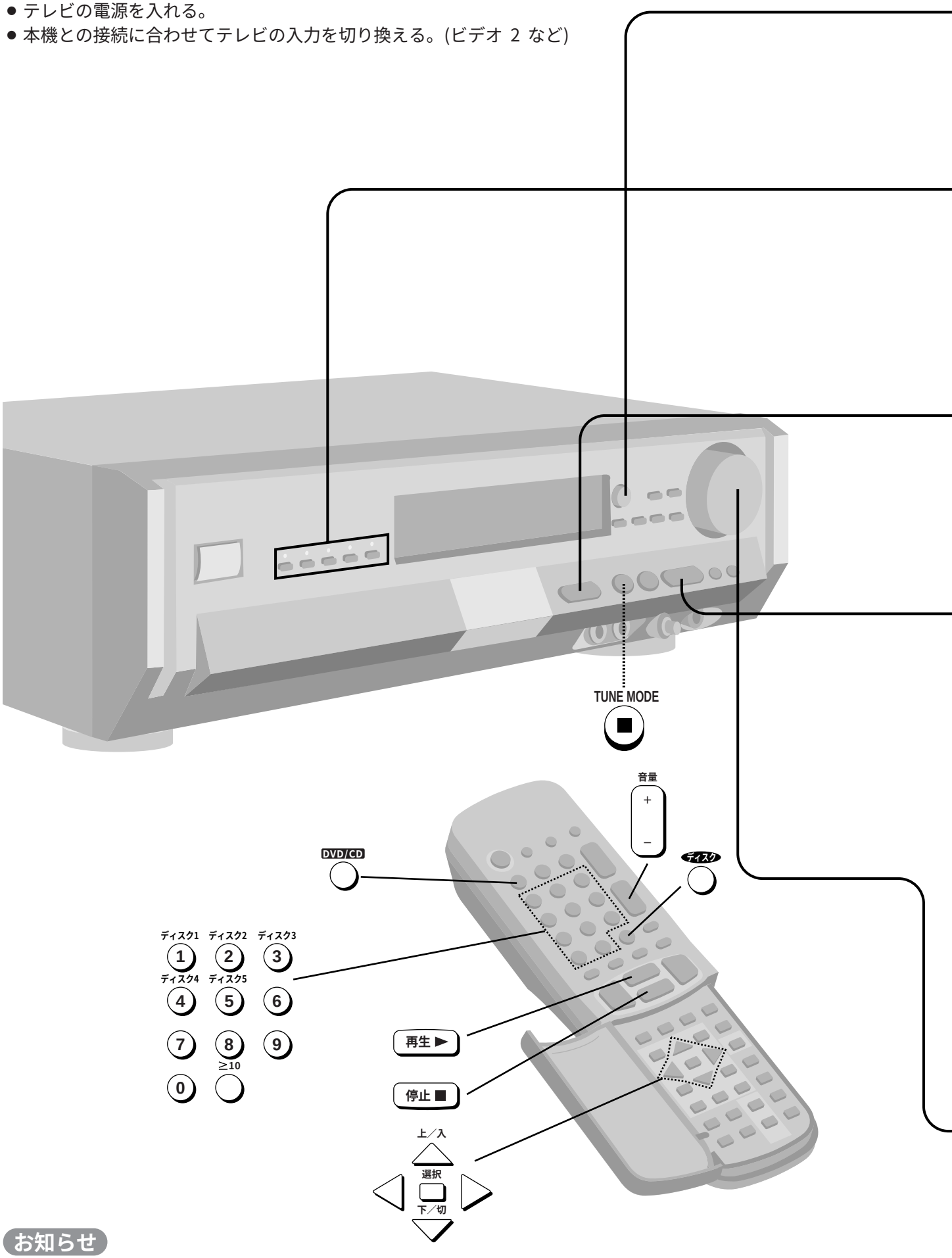
6 <u>初期設定画面の状態で</u>
押して
“ 0 終了 ”を選ぶ



■ **手順 4〜6 は、数字ボタンでも操作できます。**
それぞれ項目の前にある数字のボタンを押してください。
(例) 手順 4 では [5] を押す。

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

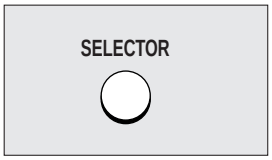


お知らせ

この表示が、ボタン操作中にテレビ画面に出たら、本機あるいはディスクが禁止している操作を示します。

映画や音楽を楽しむ

1

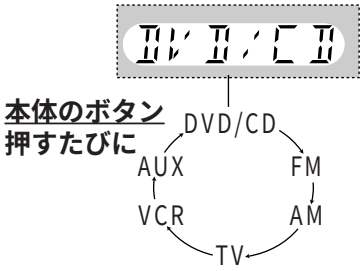


押して

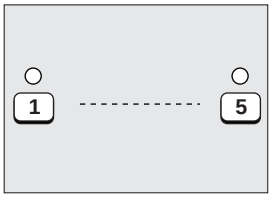
DVD/CD を選ぶ

リモコンで操作するには

[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。



2



いずれかを押して

ディスクを選ぶ

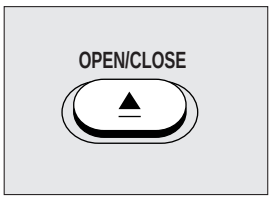
選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

リモコンで操作するには

[ディスク] を押してから、[ディスク1]～[ディスク5] を押す。

ディスクが入っていないことを表示

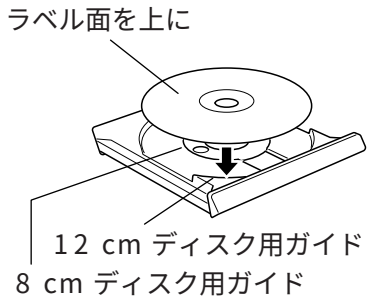
3



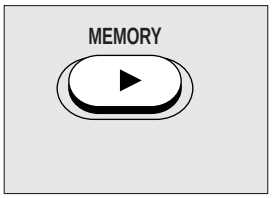
押して

トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。



4

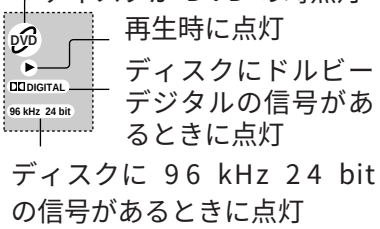


手順 3 で再生が始まらないときは押して

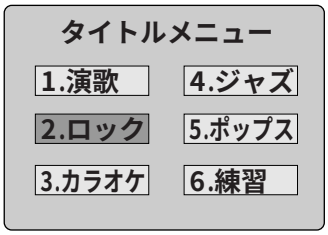
再生を始める

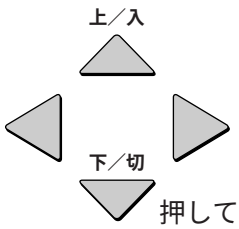
リモコンで操作するには

[再生▶] を押す。



テレビ画面にタイトル表示が出たら





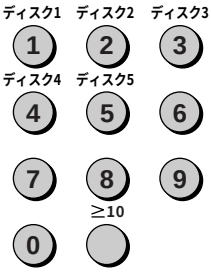
押して

タイトルを選び

選択

押す

または



押して

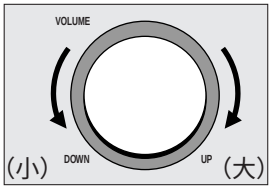
タイトルを選ぶ

10 以上の選びかた
10：[≥10]→[1]→[0]
11：[≥10]→[1]→[1]

お知らせ

ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

5

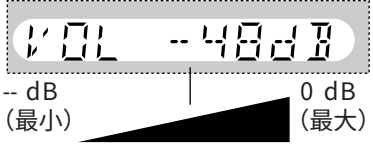


回して

音量を調整する

リモコンで操作するには

[音量 (+ またはー)] を押す。



■ 演奏を停止したいときは

(続き再生メモリー機能⇒18 ページ)

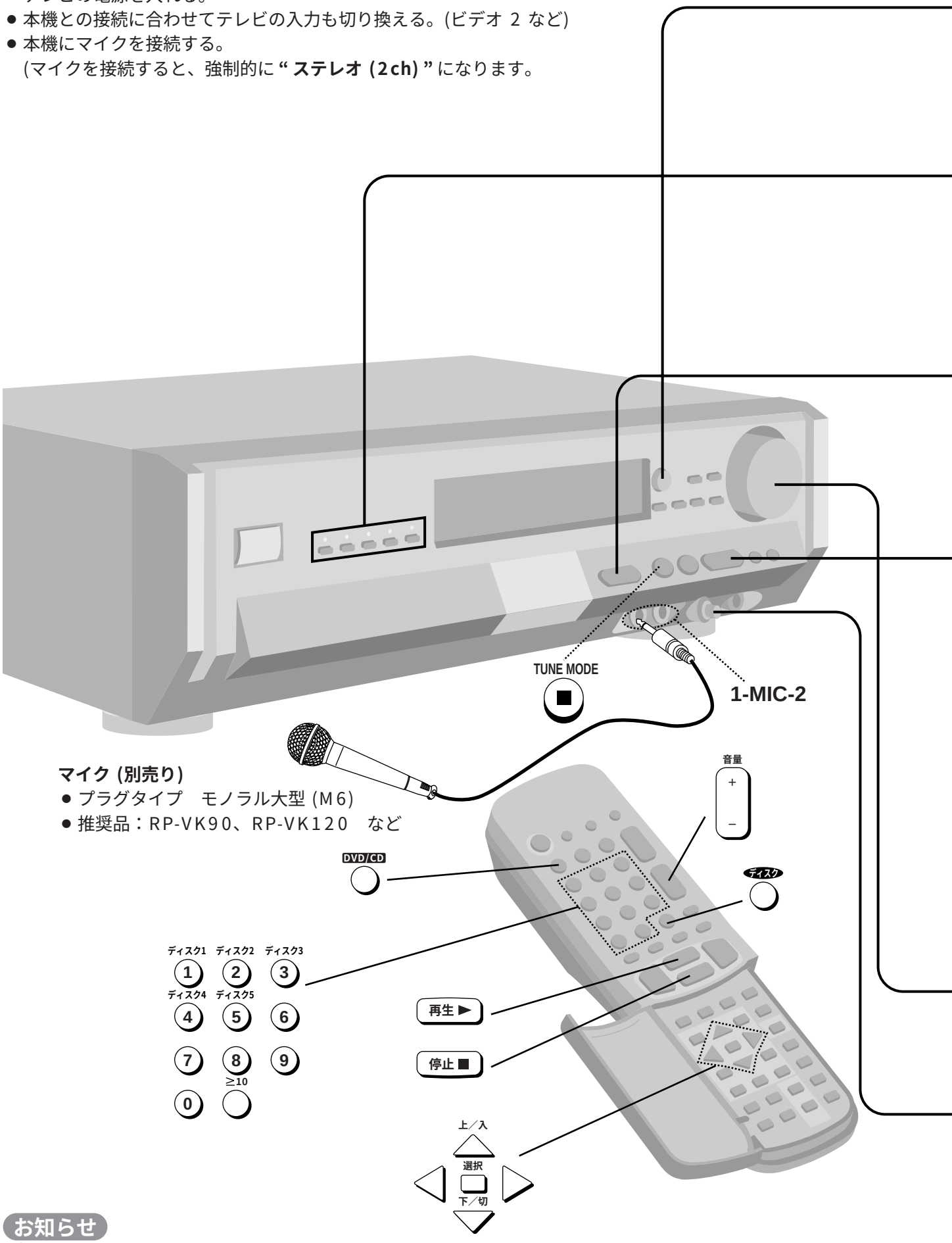
押す

リモコンで操作するには

[停止 ■] を押す。

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力も切り換える。(ビデオ 2 など)
- 本機にマイクを接続する。
  (マイクを接続すると、強制的に **“ ステレオ (2ch) ”** になります。



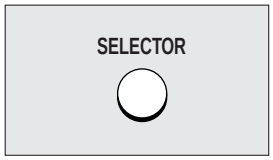
マイク (別売り)

- プラグタイプ　モノラル大型 (M6)
- 推奨品：RP-VK90、RP-VK120　など

お知らせ

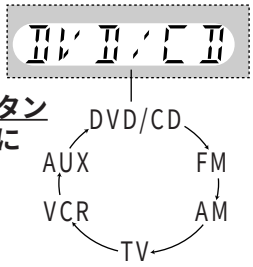
⃠ この表示が、ボタン操作中にテレビ画面に出たら、本機あるいはディスクが禁止している操作を示します。

1



押して

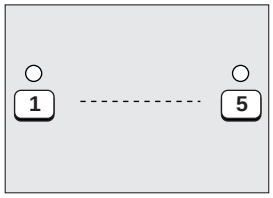
DVD/CD を選ぶ



リモコンで操作するには

[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。

2



いずれかを押して

ディスクを選ぶ

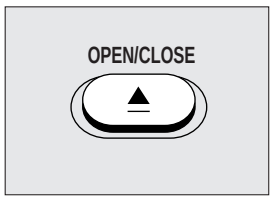
選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

ディスクが入っていないことを表示

リモコンで操作するには

[ディスク] を押してから、[ディスク1]～[ディスク5] を押す。

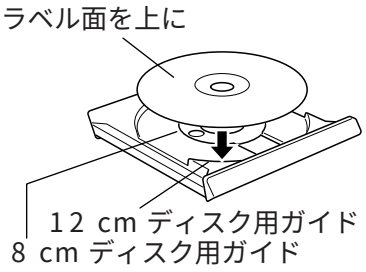
3



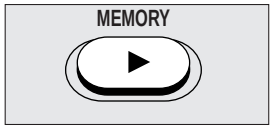
押して

トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。



4



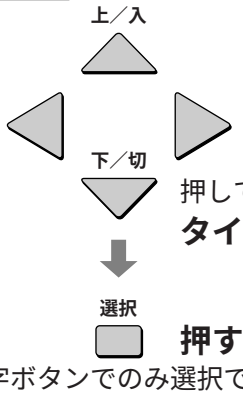
手順 3 で再生が始まらないときは
押して

再生を始める

リモコンで操作するには

[再生▶] を押す。

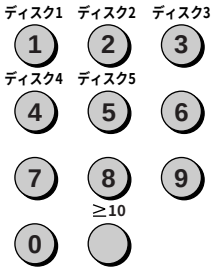
メニュー画面が表示されたら



押して
タイトルを選び

押す

または



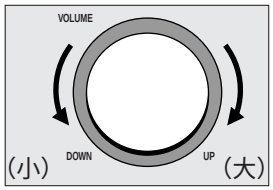
押して
タイトルを選ぶ

10 以上の選びかた
10：[≥10]→[1]→[0]
11：[≥10]→[1]→[1]

お知らせ

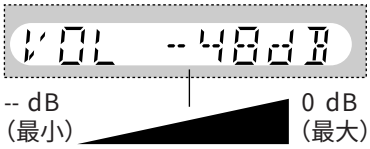
- ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。
- DVD カラオケ、プレイバックコントロール付きビデオ CD のカラオケディスク は 1 曲終わるごとにメニュー画面に戻ります。

5



回して

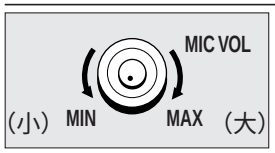
音量を調整する



リモコンで操作するには

[音量 (+ またはー)] を押す。

6



回して

マイクの音量を調整する

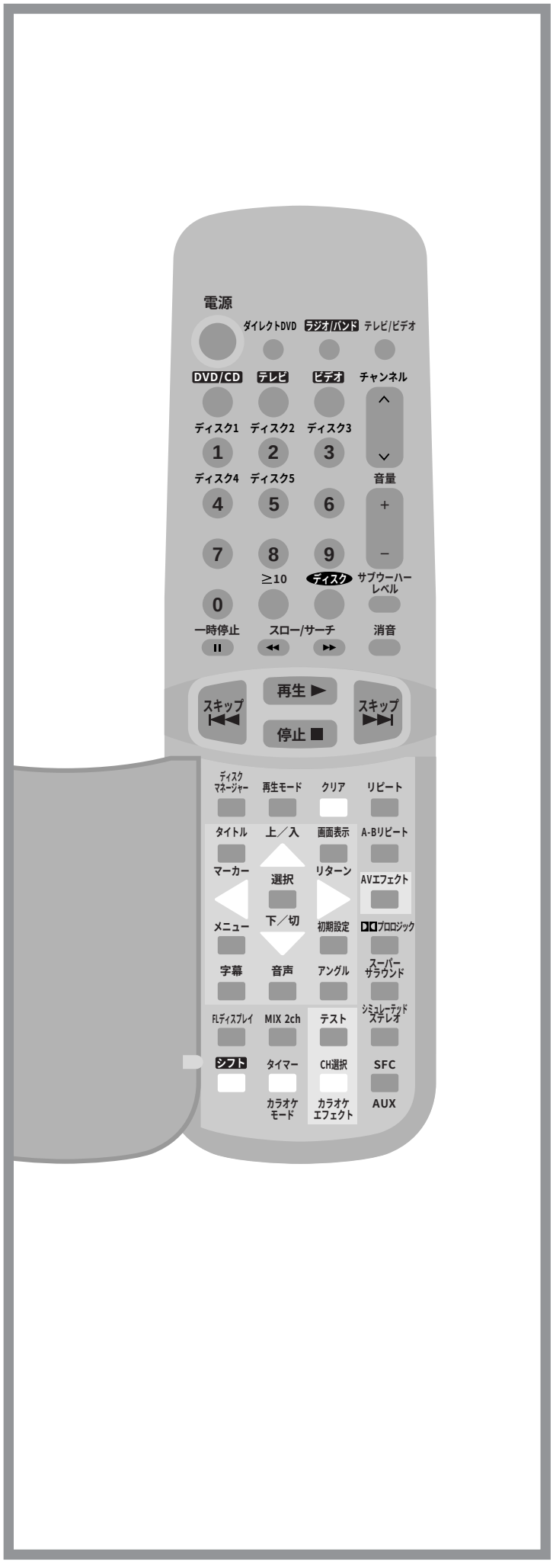
■ 演奏を停止したいときは

(続き再生メモリー機能⇒18 ページ)

押す

リモコンで操作するには

[停止 ■] を押す。



カラオケモードを使う

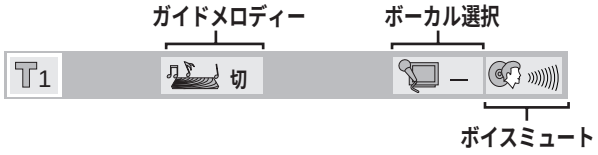
ボーカル部のメロディー演奏の「入」「切」やボーカルの音声の「入」「切」ができます。

再生中に

リモコン

シフト **押しながら** タイマー（カラオケモード） **押す**

カラオケ GUI 画面がテレビ画面に表示されます。



押して

<u>ガイドメロディーの設定をするときは</u>

DVD 5ch カラオケディスクのみ

ガイドメロディーを選ぶ

<u>ボーカルの音声の設定をするときは</u>

ボーカル選択を選ぶ
(カラオケディスクのとき)
または
ボイスミュートを選ぶ
(カラオケディスクでないとき)

上／入

押して
好みのモードを選ぶ

下／切

■ カラオケ GUI 画面を消すときは

[シフト] を押しながら [カラオケモード] を押す。
または
[クリア] を押す。

お知らせ

- 一部のディスクでは使用できません。
- ボイスミュートはモノラル録音されたディスクでは使用できません。
- マイクの音を外部機器に録音することはできません。

ガイドメロディーでは

「1」：「入」通常の音量
「2」：「入」音量大
「切」：「切」
を選択できます。
(ただし、ディスクにガイドメロディーが独立して記録されている必要があります。)
「1」または「2」では、ボーカル部のメロディーラインが演奏されます。
「切」では、伴奏だけになります。

ボーカル選択では

DVD カラオケディスク (ソロ)

「---」ボーカル「切」
「入」ボーカル「入」
を選択できます。

DVD カラオケディスク (デュエット)

「---」ボーカル「切」
「1+2」ボーカル1、2「入」
「V1」ボーカル1のみ「入」
「V2」ボーカル2のみ「入」
を選択できます。

音多ディスク (ビデオ CD/音楽 CD)

「LR」左右両チャンネルの音声
「L」左チャンネルの音声のみ
「R」右チャンネルの音声のみ
を選択できます。

ボイスミュートでは

：入
：切
を選択できます。

外部機器でカラオケを楽しむ

カセットデッキ等を接続して、カラオケを楽しむこともできます。
(接続については⇒ 44 ページ)

再生中に

リモコン

シフト **押しながら** **タイマー** **カラオケモード** **押す**

押すたびにモードが切り換わります。

V.MUTE → MONO L → MONO R
(切)

お知らせ

- これらのモードはソースによって、使用できないことがあります。

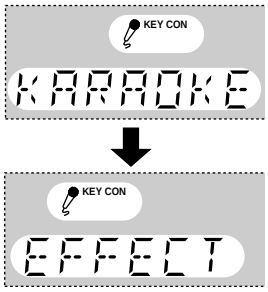
DVD VCD CD

音に効果を付ける

カラオケ時に、キーの高さを変えたり、エコーをかけたりできます。
KEY CON：キーの高さを調整します。
ECHO：エコーを効かせます。
CHORUS： コーラスをしている雰囲気を作り出します。
LOUNGE： マイクの音をセンターとサラウンドの各スピーカーから出すことによって、ラウンジで楽しんでいる雰囲気を作り出します。

リモコン

シフト **押しながら** **CH選択** **カラオケエフェクト** **押す**



5 秒以内に
押して
モードを選ぶ

押すたびにモードが切り換わります。

KEYCON ⟷ ECHO ⟷ CHORUS ⟷ LOUNGE

複数のモードを同時に使用することもできます。ただし、“ ECHO ”と“ LOUNGE ”は同時には使用できません。

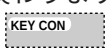
上／入

各モードが表示中に
押して
レベルを調整する

下／切

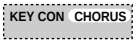
押すたびにそれぞれ次のように切り換わります。

KEYCON (キーコントロール)
−3 ⟷ −2 ⟷ −1 ⟷ 0 ⟷ +1 ⟷ +2 ⟷ +3



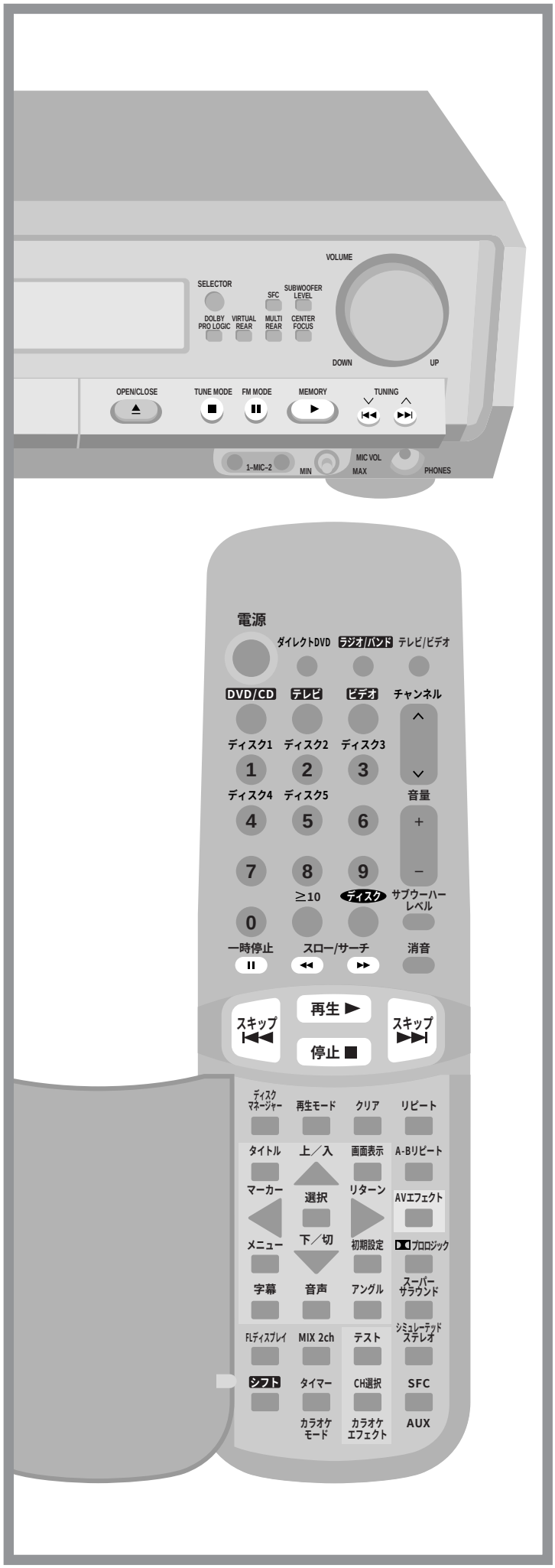
ECHO (エコー)
1 ⟷ 2 ⟷ 3 ⟷ OFF

CHORUS (コーラス)
1 ⟷ 2 ⟷ OFF



LOUNGE (ラウンジ)
1 ⟷ 2 ⟷ 3 ⟷ OFF

■カラオケエフェクトを解除するには
表示窓に“ KARAOKE EFFECT OFF ”と表示されるまで、[シフト] を押しながら [カラオケエフェクト] を押す。



止めた位置から再生する

再生中に本体の［■］または、リモコンの［停止■］を押すと、止めた位置を記憶します。(続き再生メモリー機能)

■ 止めた位置から再生するには

“RESUME”点灯中

本体　　リモコン

MEMORY ▶　　再生 ▶　　押す

■ 止めた位置までのあらすじを見るには

DVD のみ

“RESUME”点灯中に本体の［▶］または、リモコンの［再生▶］を押すと、次のメッセージがテレビに表示されます。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります

メッセージ表示中

本体　　リモコン

MEMORY ▶　　再生 ▶　　押す

タイトルの先頭から止めた位置までの各チャプター (⇒ 58 ページ) の冒頭が約 5 秒間再生された後、止めた位置から再生が始まります。(あらすじリプレイ機能)

チャプター 1 のときはあらすじリプレイにならない場合があります。

■ 続き再生メモリー機能を解除するには

“RESUME”点灯中

本体　　リモコン

TUNE MODE ■　　停止 ■　　押す

お知らせ

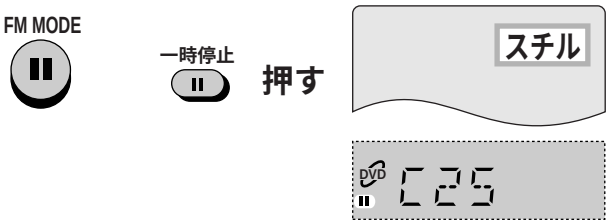
- トレイを開けたり、ディスクをチェンジすると、続き再生メモリー機能は解除されます。
- 再生しても表示窓に時間表示の出ないディスクの場合は、続き再生メモリー機能は働きません。
- 電源を切ってもメモリーは保持されます。
- あらすじリプレイのできない DVD もあります。

DVD VCD CD

一時停止 (静止) する

再生中に

本体 リモコン



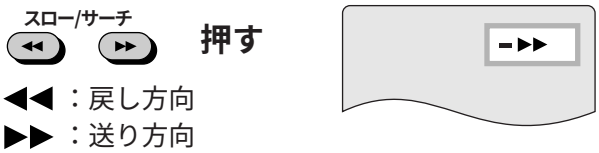
■ 通常再生に戻すには

本体の [▶] または、リモコンの [再生▶] を押す。

早送り/早戻し

再生中に

リモコン



◀◀ : 戻し方向
▶▶ : 送り方向

■ 通常再生に戻すには

本体の [▶] または、リモコンの [再生▶] を押す。

お知らせ

- 押すたびに、5 段階まで速くなっていきます。
- DVD、ビデオ CDのとき
  早送り 1 の時は、音声が聞こえます。
  初期設定の中のエキスパート設定で、この音声のあり/なしの設定ができます。(⇒ 48 ページ)
  音楽 CD のとき
  早送り 5 の時でも音声は聞こえます。
- プレイバックコントロール付きビデオ CD をメニュー画面から再生を始めた場合に、この操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

DVD VCD CD

場面や曲を飛び越す

DVD ビデオのチャプターやビデオ CD、音楽 CD のトラックの頭へ飛び、そこから再生します。

再生中に

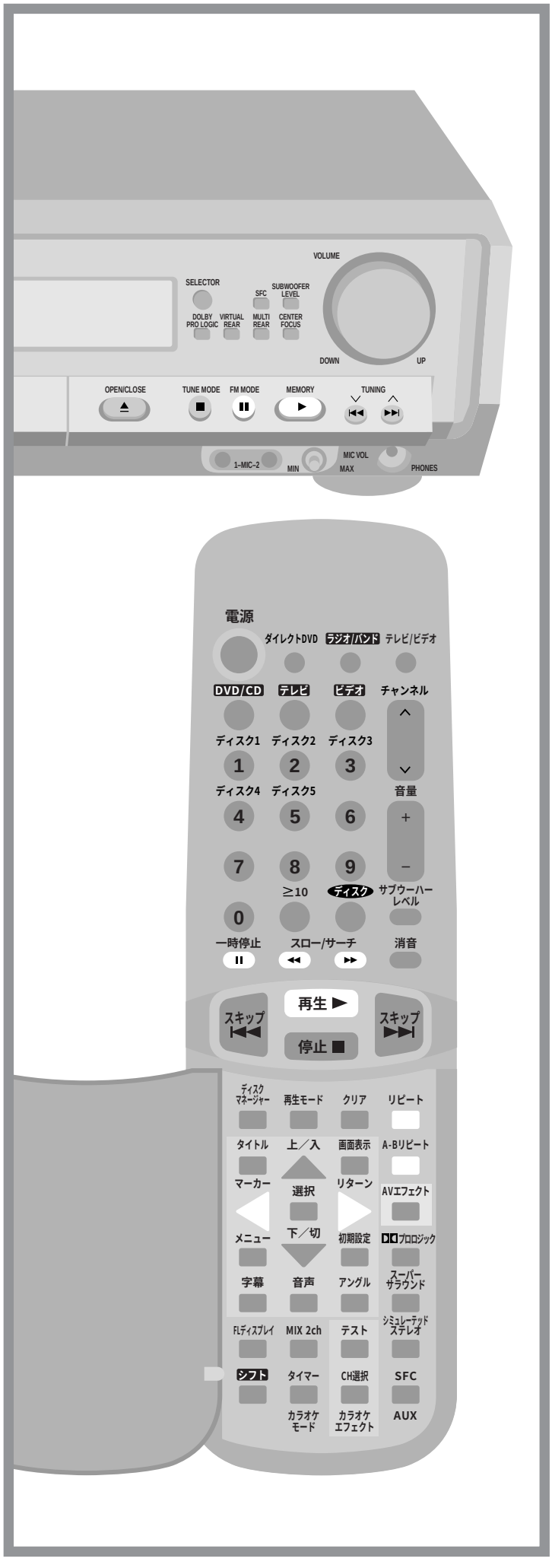
本体 リモコン

|◀◀ : 戻し方向
▶▶| : 送り方向

- 押した回数のチャプター (⇒ 58 ページ)/トラック (⇒ 58 ページ) を飛び越せます。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中のチャプター (⇒ 58 ページ)/トラック (⇒ 58 ページ) の先頭に戻ります。

お知らせ

- プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。



DVD VCD

コマ送り/コマ戻し再生

リモコン

一時停止 (静止) 中に

◀ ▶ **押す**

◀：戻し方向
▶：送り方向

■ 通常再生に戻すには

本体の [▶] または、リモコンの [再生▶] を押す。

お知らせ

- 押すたびに、1 コマずつ再生します。
- 押し続けると、連続コマ送り/コマ戻し再生になります。
- 本体の [▮▮] または、リモコンの [一時停止、▮▮] を押しても、1 コマずつコマ送り再生できます。
- ビデオ CD はコマ戻し再生できません。

DVD VCD

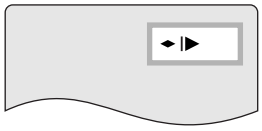
スロー再生

一時停止 (静止) 中に

リモコン

スロー/サーチ

◀◀ ▶▶ **押す**



◀◀：戻し方向
▶▶：送り方向

■ 通常再生に戻すには

本体の [▶] または、リモコンの [再生▶] を押す。

お知らせ

- 押すたびに、5 段階まで速度が速くなります。
- ビデオ CD は戻し方向にスロー再生できません。

リピート機能

チャプター、タイトル、トラックを繰り返す

再生中に

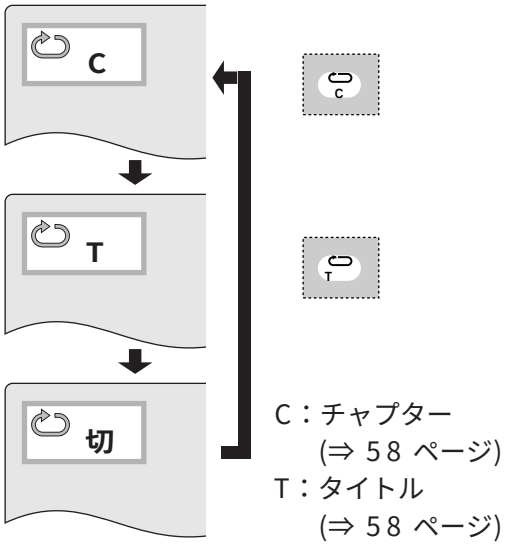
リモコン

リピート

押す

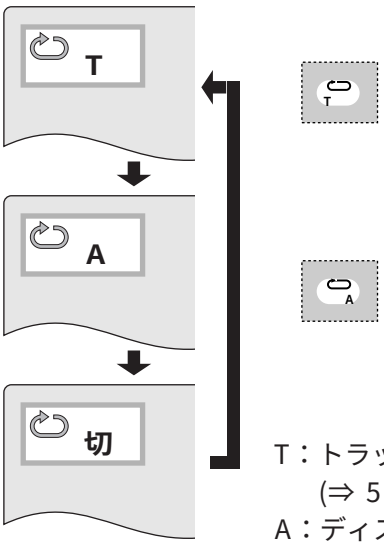
押すたびに

DVD



C：チャプター
(⇒ 58 ページ)
T：タイトル
(⇒ 58 ページ)

ビデオ CD/音楽 CD



T：トラック
(⇒ 58 ページ)
A：ディスク全体

■ 通常再生に戻すには

“ 切 ” が表示されるまで、押す。

お知らせ

- リピート機能が働かない DVD もあります。
- リピート機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

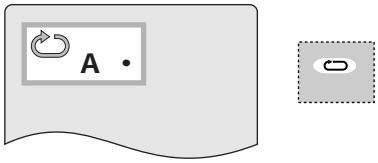
2 点間を指定して繰り返す

再生中に

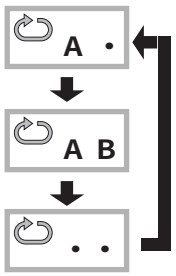
リモコン

A-Bリピート

押して
開始地点を選ぶ

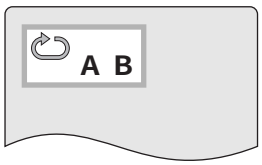


押すたびに



A-Bリピート

押して
終了地点を選ぶ

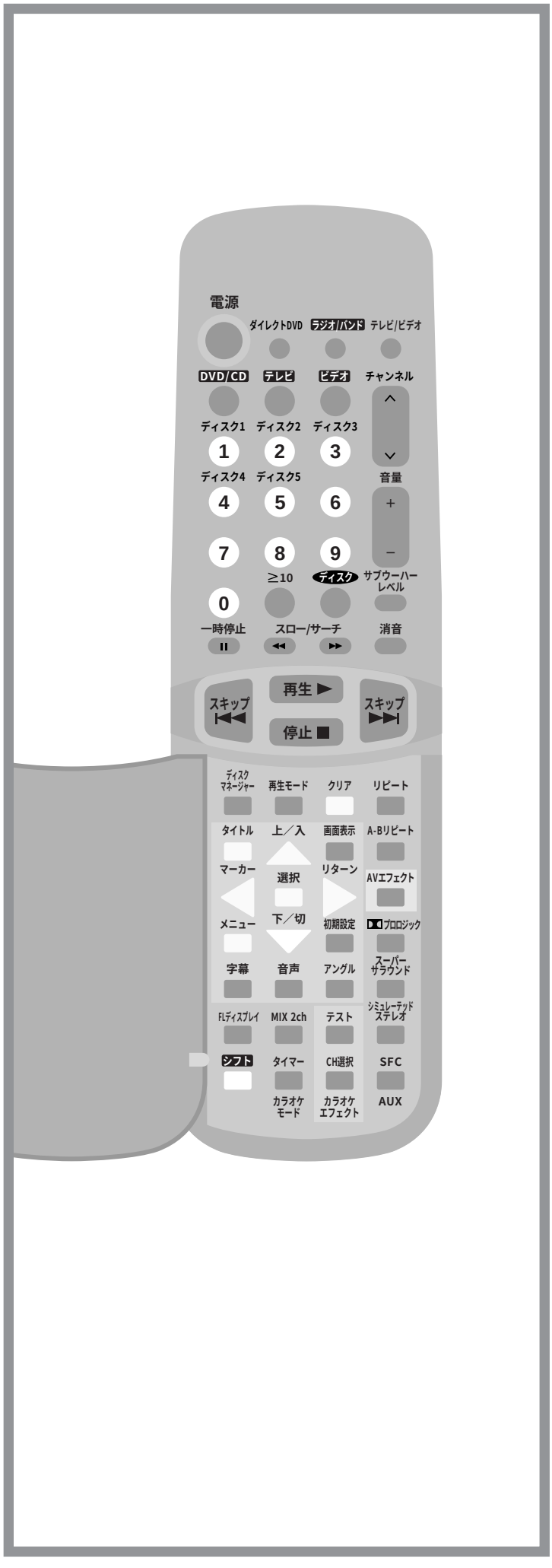


■ 通常再生に戻すには

“ . . ” が表示されるまで、押す。

お知らせ

- 時間表示の出ない DVDでは使用できません。
- A-B リピート機能は、同一タイトル (DVD) または、同一トラック (ビデオ CD/音楽 CD) でのみ可能です。
- A-B リピート時に、AB 間の前後の字幕が表示されないことがあります。
- A-B リピートは、電源を切ったり、ディスクをチェンジしたり、トレイを開けたり、入力を切り換えると解除されます。



好みの場所を記憶する

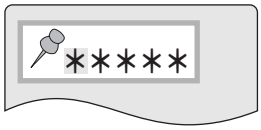
再び見たい (聞きたい) 位置にマーカーをつけておくと、いつでもそこから再生できます。マーカーは 5 つまでつけられます。

再生中に

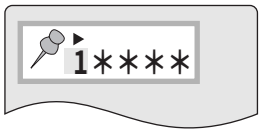
リモコン

シフト **押しながら** タイトル / マーカー **押す**

マーカー画面が表示されます。

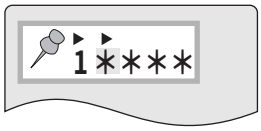


選択 **押す**　最大 5ヶ所までマークできます。

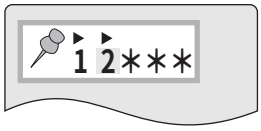


2ヶ所以上マークを付けるときは

押して **カーソルを移動させる**



選択 **押す**



好みの場所から再生する

マーカー表示中に

押して **番号を選び**

上／入 **押す**

マーク番号を取り消す

マーカー表示中に

押して **番号を選び**

クリア **押す**

DVD VCD CD

表示を消すには、「シフト」を押しながら「マーカー」を押す。

お知らせ

- 時間表示の出ないディスクでは使用できません。
- マーカー機能は選択中のディスクでのみ働きます。
- マーカーを付けた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- マーカー機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクをチェンジしたり、入力を切り換えるとマーク番号は解除されます。

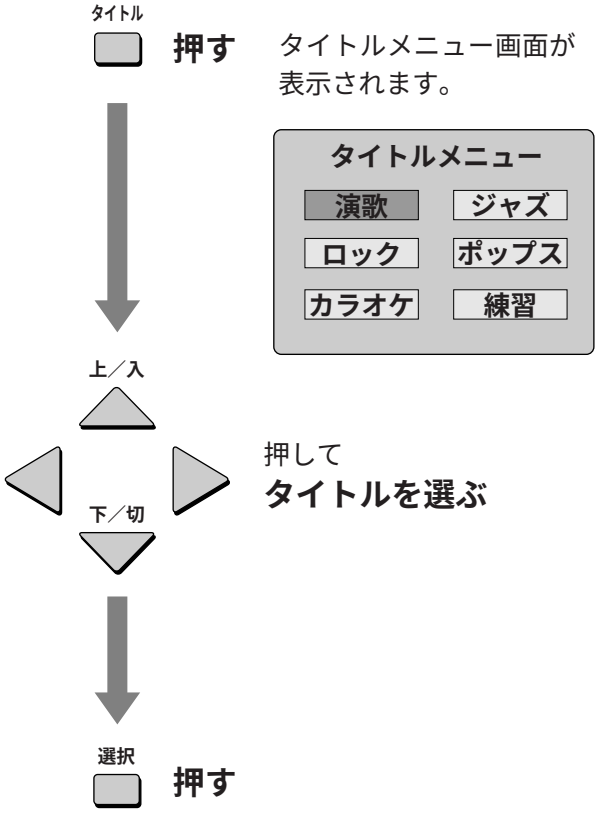
DVD

タイトルメニューを使う

複数タイトルを持つ DVD では、DVD メニューからタイトルを選択して再生することができます。

停止中または再生中に

リモコン



お知らせ

- ディスクによっては、数字ボタン［1〜0］で選べるものもあります。

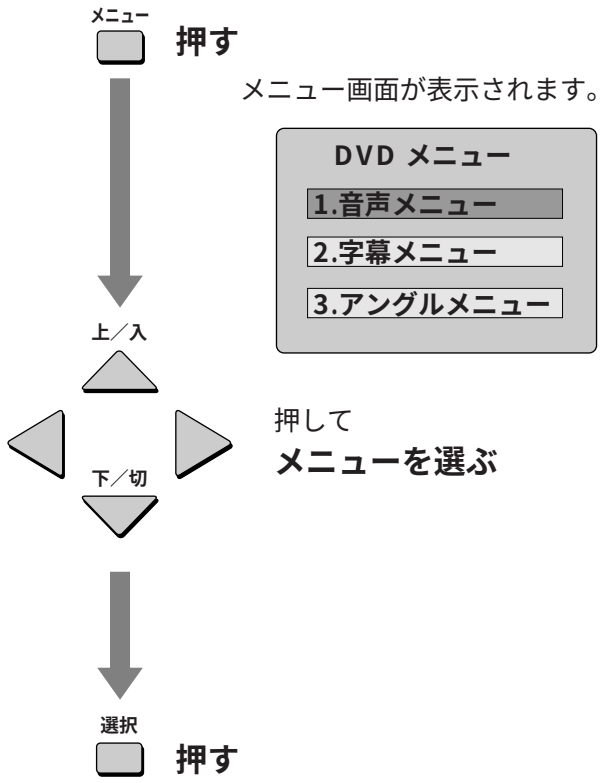
DVD

DVD メニューを使う

多くの DVD では、本編とは別に、構成場面を編集したものやその場面を選択できるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本の DVD もあります。
メニュー画面の出しかたや選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

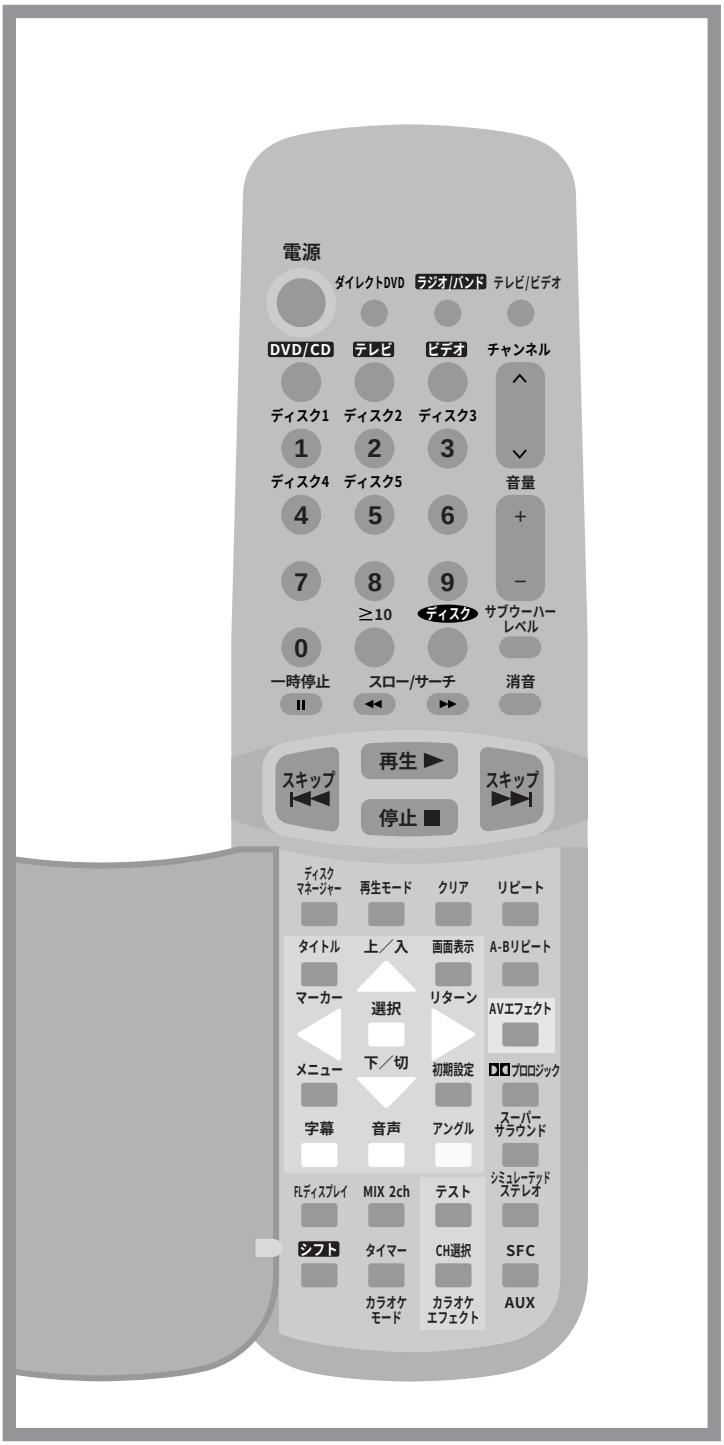
停止中または再生中に

リモコン



お知らせ

- ディスクによっては、数字ボタン［1〜0］で選べるものもあります。



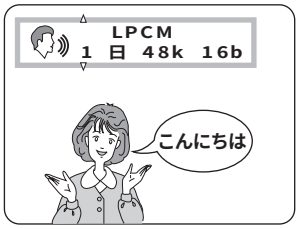
音声の変更

複数の音声言語/音声記録方式が収録されているDVD ビデオでは、再生中に好みの音声 (言語やPCM などの音声記録方式) を選ぶことができます。

リモコン

再生中に

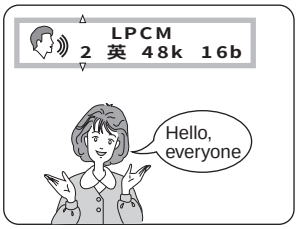
音声 **押す**



上／入

押して
音声を切り換える

下／切



■ 表示を消すには

「音声」または「選択」を押す。

お知らせ

- 希望の音声にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、初期設定画面で音声言語の設定 (⇒ 48 ページ) を行ってください。(電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。)

カラオケディスクのときはボーカルの「入」「切」や切り換えができます。

DVD カラオケディスク (ソロ)

「---」ボーカル「切」
「入」ボーカル「入」

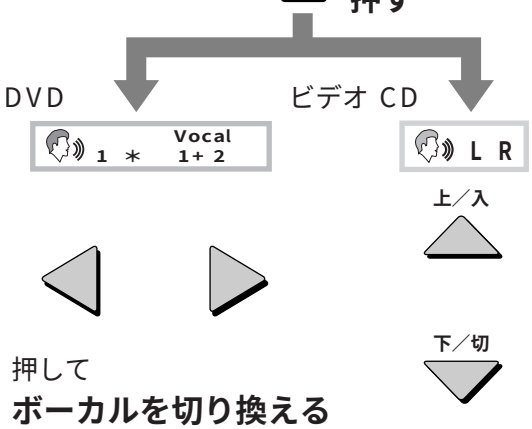
DVD カラオケディスク (デュエット)

「---」ボーカル「切」
「1+2」ボーカル1、2「入」
「V1」ボーカル1のみ「入」
「V2」ボーカル2のみ「入」

音多ディスク (ビデオ CD)

「LR」左右両チャンネルの音声
「L」左チャンネルの音声のみ
「R」右チャンネルの音声のみ

音声 **再生中に** **押す**



押して
ボーカルを切り換える

DVD

字幕言語の変更

複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

リモコン

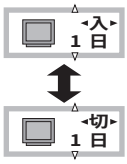
再生中に

字幕

押す

字幕を「入」「切」するには

押す

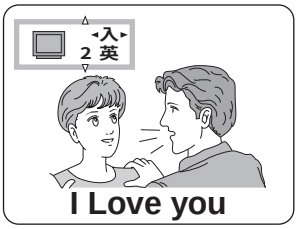


字幕の種類を選ぶには

上／入

押す

下／切



■ 表示を消すには

「字幕」または「選択」を押す。

お知らせ

- 変更した後、その言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
- 始めから好みの言語で見たい場合は、初期設定画面で字幕言語の設定 (⇒ 48 ページ) を行ってください。(電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。)

DVD

アングルを使う

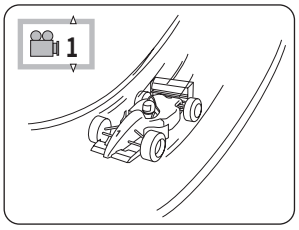
マルチアングルが収録されている DVD では、1 つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

リモコン

再生中に

アングル

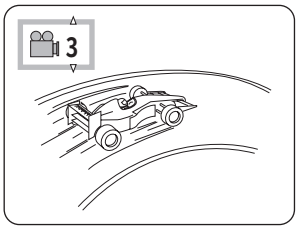
押す



上／入

押す

下／切

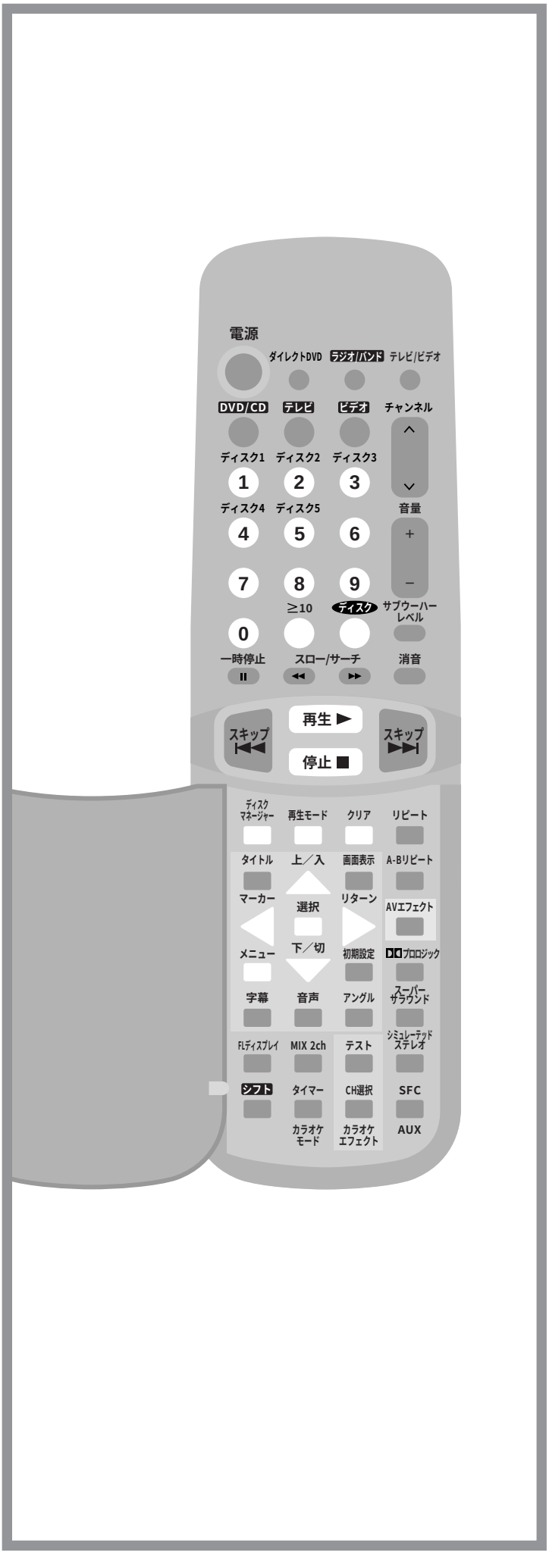


■ 表示を消すには

「アングル」または「選択」を押す。

お知らせ

- ディスクに複数のアングルが記録されていないと働きません。
- 複数のアングルが記録されている場合は、その場所になると、本機の表示窓に“ ANGLE ”の表示がでます。



VCD CD

好きなトラックから再生する

リモコン

ディスク

押す

ディスク1 ディスク2 ディスク3
1 2 3
ディスク4 ディスク5
4 5

押して
ディスクを選ぶ

ディスクチェンジが終了し、
再生が始まってから

ディスク1 ディスク2 ディスク3
1 2 3
ディスク4 ディスク5
4 5 6
7 8 9
≥10
0

押して
トラックを選ぶ

■ 10以上のトラック選びかた（例）

トラック番号 10：[≥10]→[1]→[0]

トラック番号 25：[≥10]→[2]→[5]

お知らせ

- プレイバックコントロール付きビデオ CD の場合、[停止 ■] を押して、プレイバックコントロールを解除しないと好みのトラックが選べないことがあります。
  メニュー画面に戻す場合は [停止 ■] を押してから、[メニュー] を押してください。
- プレイバックコントロール付きビデオ CD では働かないものもあります。

VCD CD

ランダムに再生する

各トラックを 1 度ずつ、順不同に再生します。

停止中に

再生モード

押して
“ RANDOM ” を選ぶ

押すたびに
PRGM ⟶ RANDOM
(切)

RANDOM

ランダム再生
プレイボタンでランダム再生スタート

再生 ▶ **押す**

■ 通常の再生に戻すには

停止させた後、「再生モード」を押して、“ 切 ” を選ぶ。

VCD CD

プログラム再生する

最大 18 トラックまで好みの順に再生します。

停止中に

リモコン

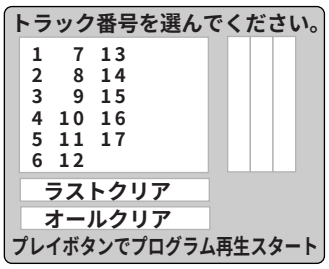
再生モード 押して

“ PRGM ”を選ぶ

押すたびに

PRGM → RANDOM

↑ (切) ←



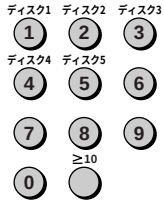
上／入

下／切

押して

番号を選ぶ

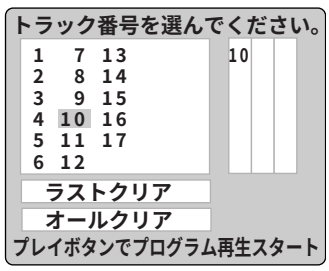
トラック番号は数字ボタンでも選べます。



繰り返して入力する

選択

押す



再生 ► **押す**

■ 通常の再生に戻すには

停止させた後、[再生モード] を押して、モードを解除する。

■ 最後に入力した予約を取り消すには

“ ラストクリア ” を選ぶ。または、[クリア] を押す。

■ 予約をすべて取り消すには

“ オールクリア ” を選ぶ。

CD

ディスクマネージャーを使う

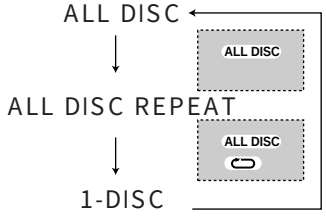
5 枚の CD を連続して、あるいは繰り返して再生することができます。

停止中に

リモコン

ディスクマネージャー **押す**

押すたびに



ALL DISC：
5 枚のディスクを連続して再生します。
ALL DISC REPEAT：
5 枚のディスクを繰り返し再生します。
1-DISC：
そのディスク 1 枚のみ再生します。

再生 ► **押す**

■ ディスクマネージャーを解除するには

設定中

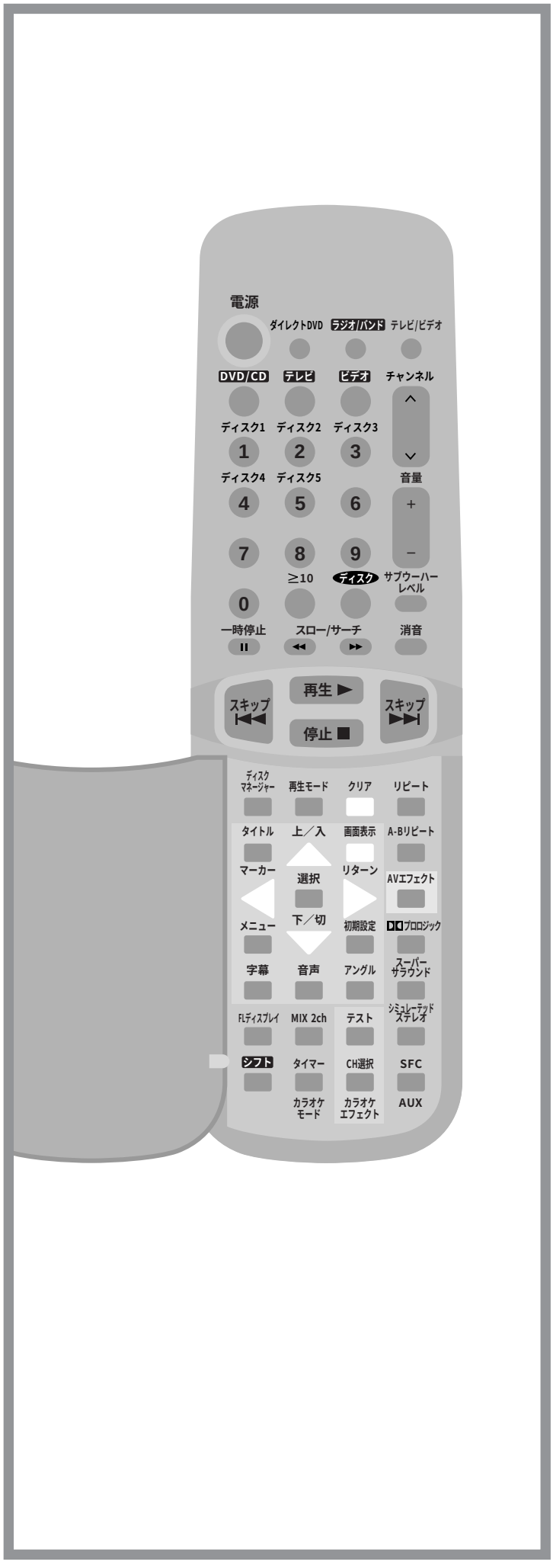
[ディスクマネージャー] を押して、“ 1-DISC ” を選ぶ。

再生中

[停止■] を 2 回押す。

お知らせ

- 停止中でも “ RESUME ” 点灯中は使用できません。
- この機能が使用できるのは、音楽 CD のみです。
- DVD、ビデオ CD のときに設定すると、再生が始まっても、ディスクマネージャー機能は解除されます。
- 途中に DVD、ビデオ CD のディスクがあるときは、それらのディスクは飛び超えて再生されます。



GUI 画面を使う

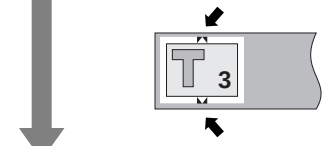
GUI (Graphical User Interface) 画面とは、「画面を見ながら対話形式で操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスク情報や本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI 画面」と呼びます。情報を見ながら内容を変更することにより、様々な操作ができます。

リモコン

画面表示 **押す**

GUI 画面が表示されます。
押すたびに画面が切り換わります。

押して
項目を選ぶ



このしるしの項目の変更ができます。

上／入

押す

下／切

■ GUI 画面を消すには

元の画面に戻るまで、「画面表示」を押す。または「クリア」を押す。

お知らせ

- 各項目の変更操作については、一部異なるものがありますので、“ GUI 画面の絵表示について ” (⇒ 30、31 ページ) を参照してください。
- タイトルやトラック、チャプターなど、各項目の変更操作後に GUI 画面の消えるものもあります。
- GUI 画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面でオンスクリーンの変更をしてください。(⇒ 48 ページ)

画面表示

GUI 画面には次の 3 つがあります。

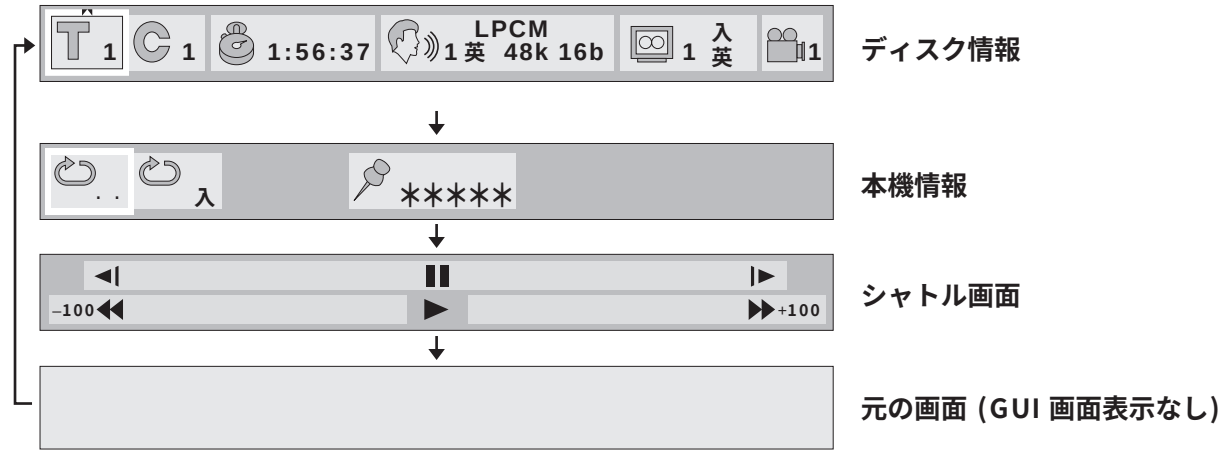
ディスク情報画面：タイトル/トラックやチャプターを選んだり、タイムコード/音声/字幕/アングルを切り換えたりできます。

本機の情報画面：お好みの場所をマークしたり、好きな場所を繰り返したりできます。

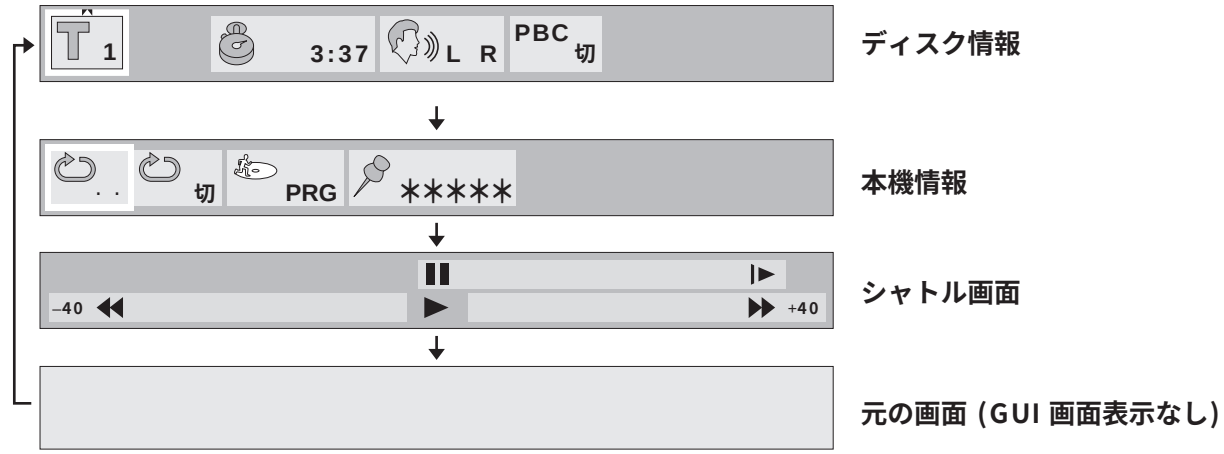
シャトル画面：早送り/早戻しや、スロー再生、一時停止 (静止) ができます。

以下は、例です。ディスクによっては表示の異なるものもあります。

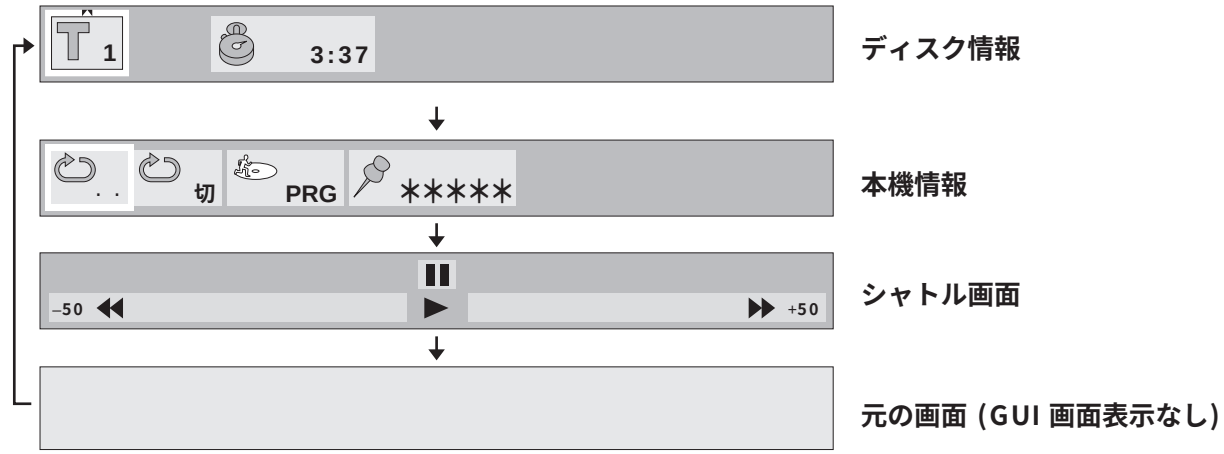
DVD



ビデオ CD

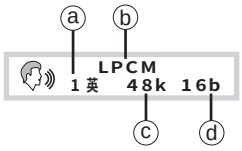
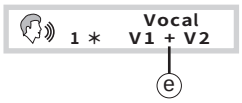
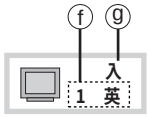


音楽 CD



GUI 画面の絵表示について

ディスク情報画面

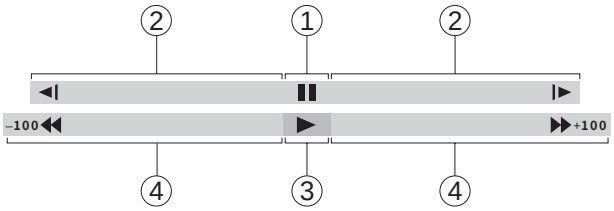
表示	内容	変更方法
	タイトル番号 (DVD)、トラック番号 (ビデオ CD、音楽 CD) を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [選択]
	チャプター番号を表わします。	**DVD のみ** [△] [▽] または数字ボタンを押して [選択]
	経過時間を表わします。	**DVD** 数字ボタンを押して [選択]
	押すたびに次の時間を表わします。 経過時間 ⟷ トラックの残り時間 ⟷ ディスクの残り時間	**ビデオ CD/音楽 CD** [△] [▽] を押す
	ⓐ 音声の番号を表わします。 言語の略称は右ページ下の表のとおりです。	**DVD のみ** [△] [▽] または数字ボタンを押して [選択]
	ⓑ 信号のタイプを表わします。 LPCM (リニア PCM)、DD (ドルビーデジタル) または dts ⓒ サンプリングレートまたはチャンネル数を表わします。 ディスクが LPCM なら：48 kHz または 96 kHz ディスクが DD なら：1 ch～5.1 ch ディスクが dts なら　：1 ch～5.1 ch ⓓ ビット数を表わします。 ディスクが LPCM のみ：16～24 bit	**DVD のみ** —
	ⓔ ボーカルの「入」「切」を表わします。 ディスクがソロなら：--- または 入 ディスクがデュエットなら：--- 、V1+V2、V1 または V2	**DVD カラオケのみ** [△] [▽] を押す
	ⓕ 字幕の番号を表わします。 言語の略称は右ページ下の表のとおりです。	**DVD のみ** [△] [▽] または数字ボタンを押す
	ⓖ 字幕表示の「入」「切」を表わします。	**DVD のみ** [△] [▽] を押す
	アングル番号を表わします。	**DVD のみ** [△] [▽] または数字ボタンを押す
	音声モードを表わします。 L：左チャンネルの音声 R：右チャンネルの音声 LR：左チャンネル+右チャンネルの音声	**ビデオ CD のみ** [△] [▽] を押す
	メニュー再生の「入」「切」を表わします。	**ビデオ CD のみ** —

※選択数字が表示される項目は、数字ボタンでも選べます。
　ディスクによっては、一部機能の使用できないものがあります。

本機の情報画面

表示	内容	変更方法
	A-B リピート再生を開始します。	[選択] を押して開始点を決め、[選択] で終点を選ぶ。
	リピート再生のモードを選びます。 DVD：C チャプター　T タイトル ビデオ CD/音楽 CD：T トラック　A ディスク全体	[△] または [▽] を押す。
	再生モードを表わします。 ーー　通常再生 PRG プログラム RND ランダム	**ビデオ CD/音楽 CD のみ** ー
	マークを付ける。	[選択] を押す。
	マークを呼び出す。	[◁] または [▷] を押して、[△] を押す。
	マークを消す。	[◁] または [▷] を押して、[クリア] を押す。

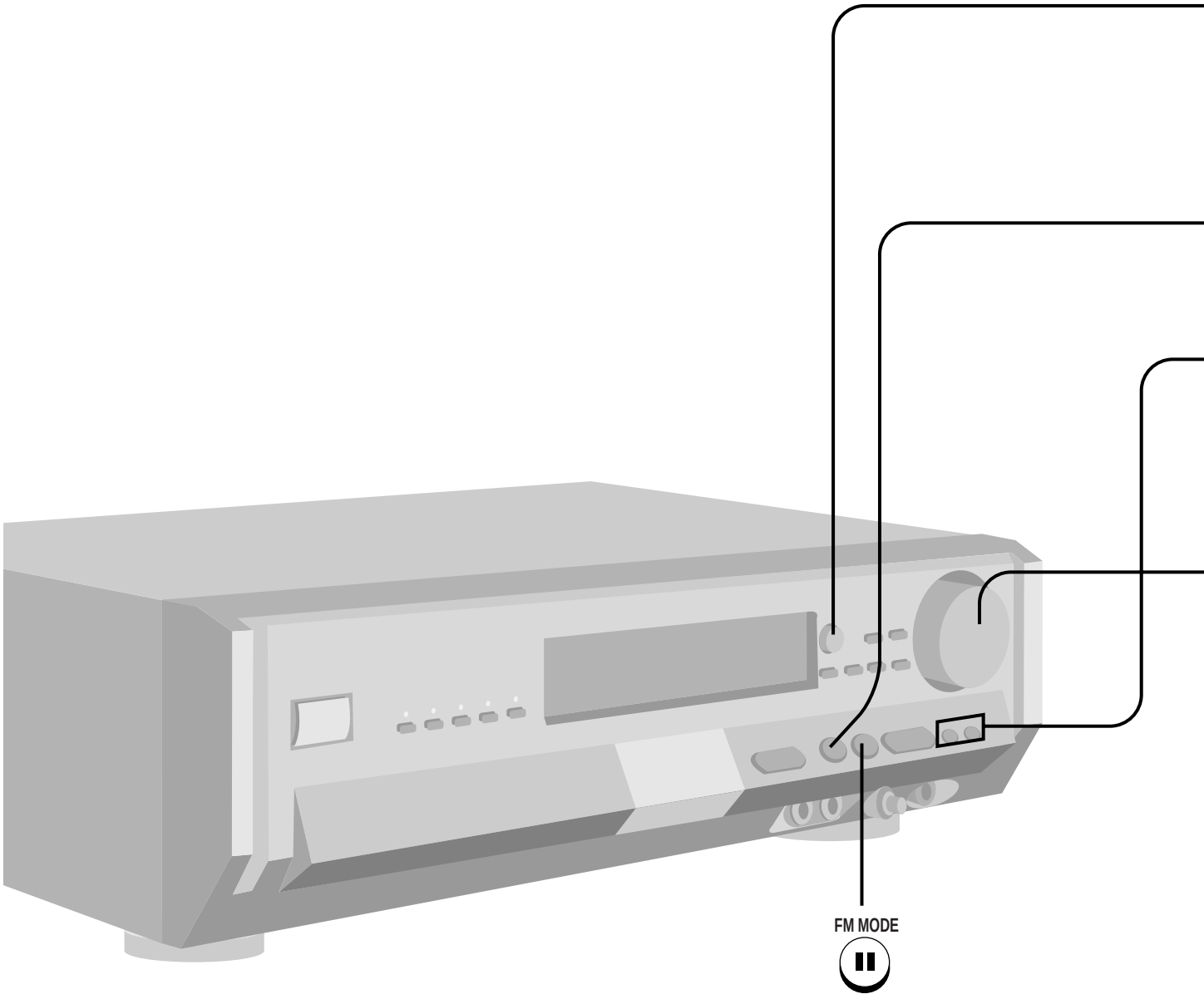
シャトル画面



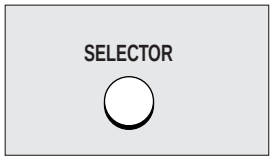
各方向 5 段階まで選べます。

表示	変更方法
① 一時停止	[△] を押す。
② スロー再生　◀‖：戻し方向 (DVD のみ) ‖▶：送り方向 (DVD、ビデオ CD のみ)	[△] を押して、[◁] または [▷] を押す。
③ 再生	ー
④ 早送り/早戻し　◀◀：戻し方向 ▶▶：送り方向 数字はディスクによって異なります。 DVD：+100〜ー100 ビデオ CD：+40〜ー40 音楽 CD：+50〜ー50	[▽] を押して、[◁] または [▷] を押す。

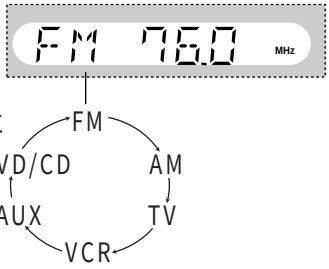
言語の略称について								
	日	日本語	**独**	ドイツ語	**蘭**	オランダ語	**韓**	韓国語
	英	英語	**伊**	イタリア語	**中**	中国語	＊	その他
	仏	フランス語	**西**	スペイン語	**露**	ロシア語		


FM MODE

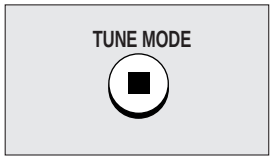
1



押して
FM または **AM** を選ぶ

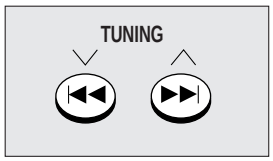


2



押して
“ MANUAL ”を選ぶ

3

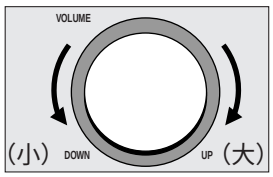


押して
放送局を選ぶ

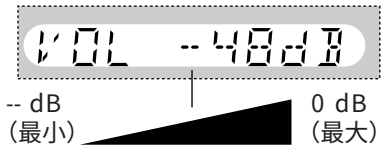
ステレオ放送を受信すると点灯

正確に受信すると点灯

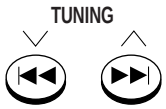
4



回して
音量を調整する



■ 自動選局するには



押したままにし、周波数表示が動き始めたら指を離す。最初に受信した放送局で自動停止します。

お知らせ

周囲に電波妨害があると、放送局を受信せずに自動選局が停止することがあります。

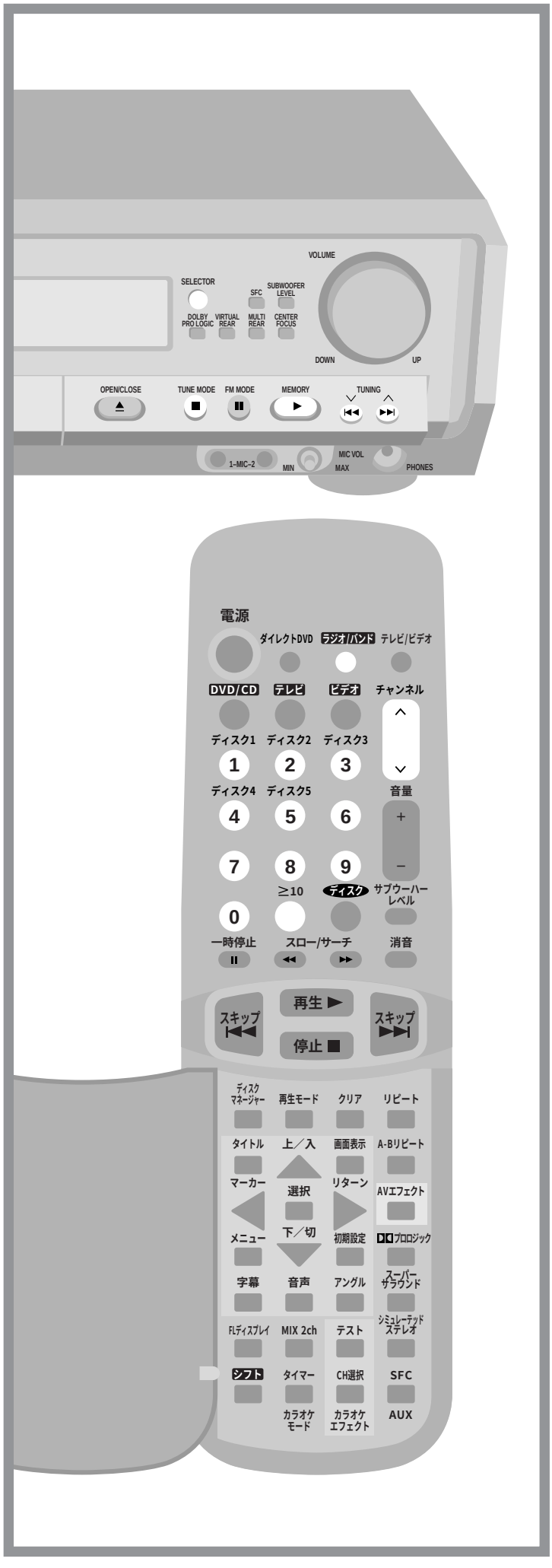
■ FMステレオで雑音が多いときは

押す

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は “ MONO ” を消灯させておいてください。

お知らせ

- AM の音声はモノラルになります。
- 受信状態が悪いときは屋外アンテナの利用をおすすめします。(⇒ 45ページ)



放送局を記憶させる

- チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
- FM、AM とも12 局ずつ記憶できます。

準備

本体の［SELECTOR］または、リモコンの［ラジオ/バンド］で FM または AM を選んでください。

本体

TUNE MODE

押して、

“ MANUAL ”を選ぶ

押すたびに

MANUAL⟷PRESET

TUNING

押して

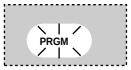
一番低い周波数を選ぶ

FM：76.0 MHz

AM：522 kHz

MEMORY

周波数が動き出すまで押し続ける



記憶動作終了後は、最後に記憶した放送局を受信します

お知らせ

プリセットされた放送局は電源コードを抜いても、2 週間記憶されています。

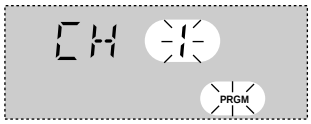
1局ずつ記憶させるには

本体

MEMORY ▶ **押す**

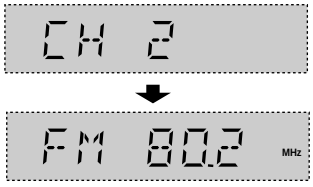
TUNING ◀◀ ▶▶ 押して **放送局を選ぶ**

MEMORY ▶ **押す**



TUNING ◀◀ ▶▶ 押して **記憶させる、プリセットチャンネルを選ぶ**

MEMORY ▶ 押して **操作を完了させる**



さらに記憶させるには、以上の操作を繰り返す。

記憶させた放送局を聞く

簡単な操作で受信できます。

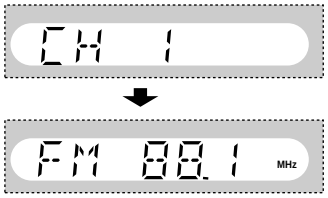
本体

SELECTOR **FM または AM を選ぶ**

TUNE MODE ■ 押して **“ PRESET ”を選ぶ**

押すたびに
PRESET ⟷ MANUAL

TUNING ◀◀ ▶▶ 押して **チャンネルを選ぶ**



■ 記憶させた放送局をリモコンで選ぶには

① [ラジオ/バンド] を押して FM または AM を選ぶ。
② 数字ボタンでチャンネルを選ぶ。
チャンネル 10 以上の選びかた
10 ch：[≥10]→[1]→[0]
11 ch：[≥10]→[1]→[1]
または
[チャンネル (∧、∨)] を押して選ぶ。

本機内蔵の音場効果について

種類	特徴	供給ソフト
ドルビー デジタル **Dolby Digital**	ディスクリート 6 (5.1) チャンネル方式を用いた映画館用デジタルサラウンドシステムの 1 つです。 本機では、DVD ソフトに Dolby Digital の信号が入っている場合は自動で判定します。	DOLBY DIGITAL 上記のマークのついた ● DVD
ドルビー プロ ロジック **Dolby Pro Logic**	Dolby Pro Logic は、Dolby Surround のソースによりリアルな音場を形成するため開発されたデコードシステムです。 センタースピーカーチャンネルを独立させることで、特に定位感を向上させています。	DOLBY SURROUND 上記のマークのついた ● DVD ● ビデオテープ ● CD
スーパー サラウンド **SUPER SURROUND** ムービー **MOVIE**	上記システムで記録されていない映画ソフトにサラウンド効果を付加します。	ステレオ録音されていればどのソースでも可能。 ただし、ラジオは不可。
ミュージック **MUSIC**	ステレオ録音された音楽ソースにサラウンド効果を付加します。	
シミュレーテッド ステレオ **SIMULATED STEREO**	モノラル録音されたソースにステレオ録音されているかのような効果を付加します。	モノラル録音されていればどのソースでも可能。 ただし、ラジオは不可。
SFC	再生音の音質を変えたり、残響を与えたりします。	どのソースでも可能。

使用できる拡張機能

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リヤ サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リヤ サラウンド）
Ⓒ Seat position（シート ポジション）
Ⓓ Center focus（センター フォーカス）

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リヤ サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リヤ サラウンド）
Ⓒ Seat position（シート ポジション）
Ⓓ Center focus（センター フォーカス）

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リヤ サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リヤ サラウンド）
Ⓒ Seat position（シート ポジション）

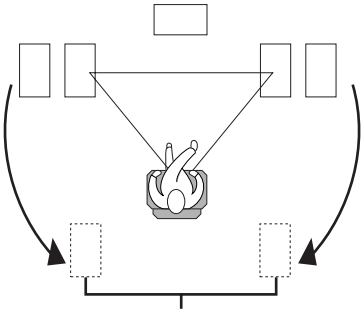
なし

なし

なし

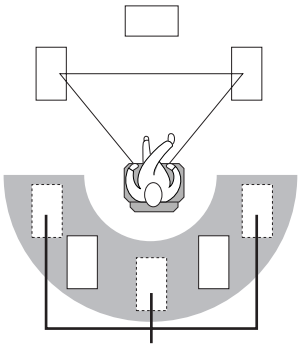
Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リヤ サラウンド） (⇒ 40 ページ)

- サラウンドスピーカーをフロントスピーカーに並べて設置している場合に使用します。
- サラウンドスピーカーからの音声があたかも後から聞こえてくるような効果があります。



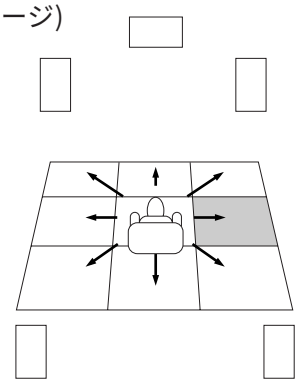
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リヤ サラウンド） (⇒ 40 ページ)

- いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果を作り出し、映画館にいるような雰囲気を出します。



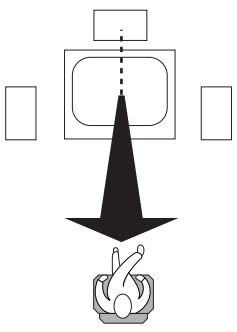
Ⓒ Seat position（シート ポジション） (⇒ 41 ページ)

- 視聴位置を変えても、音声が元の位置と同じように聞こえます。



Ⓓ Center focus（センター フォーカス） (⇒ 41 ページ)

- テレビの上から出ている音声がテレビの中から聞こえてくるよう感じになります。
- センタースピーカーはテレビの上に置いてください。



ドルビーデジタルを楽しむ

DVD のみ

ディスクを再生してください。
Dolby Digital の信号がある場合は表示窓に“ DIGITAL ”が点灯します。

ドルビーデジタル、ドルビープロロジックの調整

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーのレベルにばらつきがあると感じる時は、視聴する位置に座った状態で、全てのスピーカーからの出力が同じ音量になるように調整してください。

準備

ドルビーデジタルの調整を行なうときは
[DVD/CD] を押す。
ドルビープロロジックの調整を行なうときは
[プロロジック] を押す。

テスト
押して
テスト信号を出力させる。
次の順序で出力されます。

ドルビーデジタルのとき
L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
RS：サラウン右ドスピーカー
LS：サラウン左ドスピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

ドルビープロロジックのとき
L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
S：サラウンドスピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

音量
押して
通常聞く音量にする。

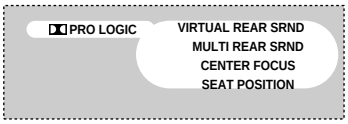
上／入
押して
各スピーカーのレベルが同一になるように調整する。

下／切
ドルビープロロジックのときは C と S のみ調整できます。

ドルビープロロジックを楽しむ

本体　DOLBY PRO LOGIC

リモコン　DD プロロジック　押す



■ 解除するには

本体の [DOLBY PRO LOGIC] または、リモコンの [DD プロロジック] を押す。

■ テスト信号を止めるには

[テスト] を押す。

■ 再生中に各スピーカーを個々で調整するには

1. [CH 選択] を押してスピーカーを選ぶ。

ドルビーデジタルのとき

L →C →R →RS →LS →SW

SW (サブウーハー) は " OFF " のときには選択できません。(⇒43 ページ)

ドルビープロロジックのとき

C →S

2. [△] または [▽] を押す。

■ 各スピーカーの調整可変レベルは

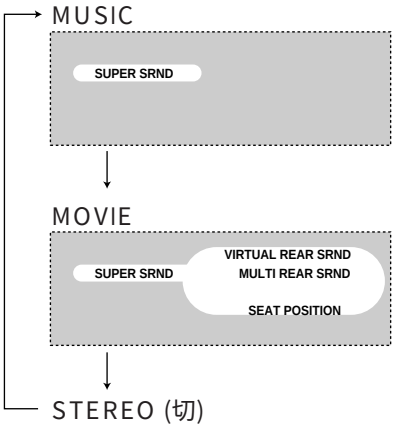
L、R：　　−16 dB〜0 dB
C、RS、LS、S：−10 dB〜+6 dB
SW：　　−10 dB〜+10 dB　です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「Pro Logic」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

スーパーサラウンドを楽しむ

リモコン　スーパーサラウンド　押す

押すたびに



■ スーパーサラウンドを解除するには

[スーパーサラウンド] を押して、" STEREO " を選ぶ。

■ サラウンドスピーカーのレベルを調整するには

1. [CH 選択] を押す。
2. [△] または [▽] を押しレベルを調整する。
   −10 dB〜+6 dB の範囲で調整できます。

シミュレーテッドステレオを楽しむ

リモコン　シミュレーテッドステレオ　押す

■ シミュレーテッドステレオを解除するには

[シミュレーテッドステレオ] を押す。

MIX 2ch にする

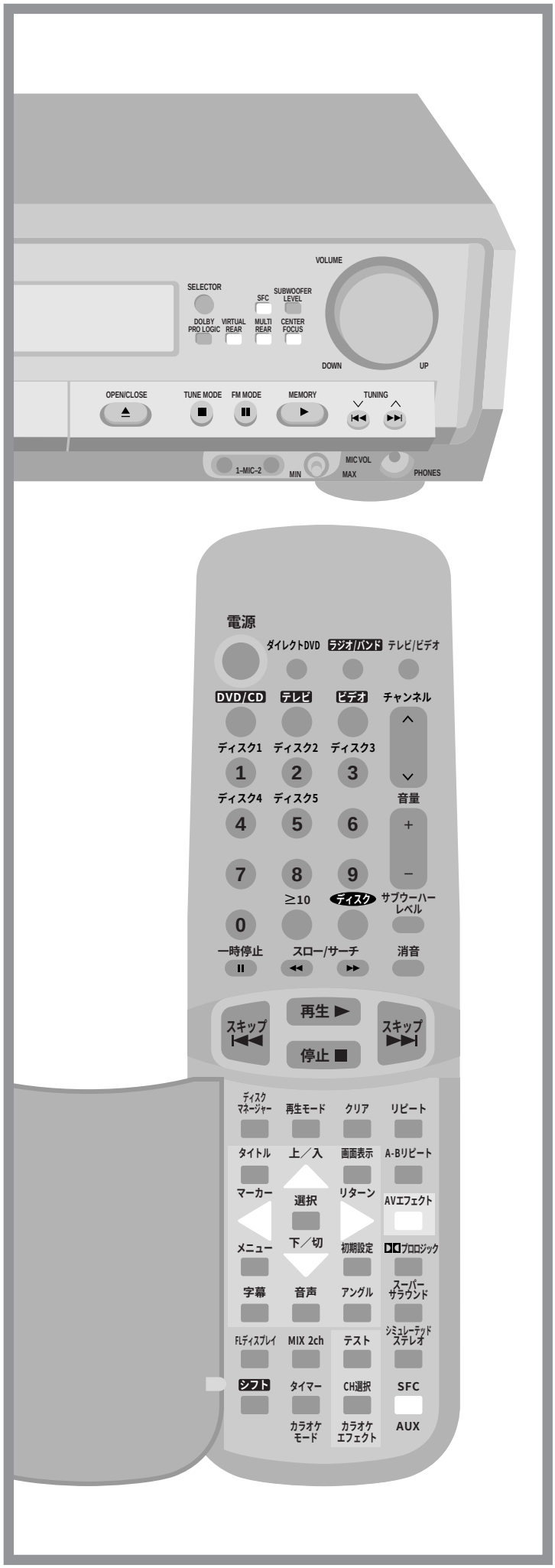
Dolby Digital などの 5.1 ch の音声を 2 ch に集約してフロントスピーカーから出力します。

リモコン　MIX 2ch　押す

お知らせ

ドルビーデジタルは " DVD " のみで使用できます。また、ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオは入力がラジオのときは使用できません。

ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオはカラオケエフェクトをオンにしたり、ヘッドホンを接続したりすると使用できません。



バーチャルリヤサラウンドの効果を出す

本体　VIRTUAL REAR　**押す**

リモコン　AVエフェクト　**押す**

押して **“ VIRTUAL REAR SRND ” を選ぶ**

▶ VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
CENTER FOCUS
SEAT POSITION

上／入　**“ VIRTUAL REAR SRND ” 点滅中**
押す

■ バーチャルリヤサラウンドを解除するには

本体の
[VIRTUAL REAR] を押す。
リモコンの
1. [AV エフェクト] を押す。
2. [◁] または [▷] を押して、
“ VIRTUAL REAR SRND ” を選ぶ。
3. [▽] を押す。

マルチリヤサラウンドの効果を出す

本体　MULTI REAR　**押す**

リモコン　AVエフェクト　**押す**

押して **“ MULTI REAR SRND ” を選ぶ**

VIRTUAL REAR SRND
▶ MULTI REAR SRND
CENTER FOCUS
SEAT POSITION

上／入　**“ MULTI REAR SRND ” 点滅中**
押す

■ マルチリヤサラウンドを解除するには

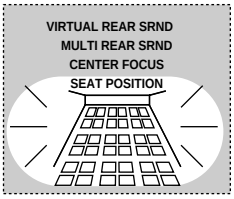
本体の
[MULTI REAR] を押す。
リモコンの
1. [AV エフェクト] を押す。
2. [◁] または [▷] を押して、
“ MULTI REAR SRND ” を選ぶ。
3. [▽] を押す。

シートポジションを使う

リモコン

AVエフェクト **押す**

押して **“ SEAT POSITION ” を選ぶ**

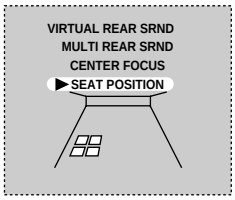


上／入 **“ SEAT POSITION ” 点滅中 押す**

上／入

“ ▶ ” 点滅中 押して **位置を選ぶ**

下／切



■ バーチャルリヤサラウンド時には

左右方向のみ調整できます。

■ シートポジションを解除するには

1. [AV エフェクト] を押す。
2. [◁] または [▷] を押して、“ SEAT POSITION ” を選ぶ。
3. [▽] を押す。

センターフォーカスの効果を出す

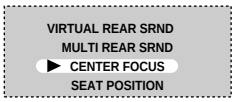
本体

CENTER FOCUS **押す**

リモコン

AVエフェクト **押す**

押して **“ CENTER FOCUS ” を選ぶ**



上／入 **“ CENTER FOCUS ” 点滅中 押す**

■ センターフォーカスを解除するには

本体

[CENTER FOCUS] を押す。

リモコンの

1. [AV エフェクト] を押す。
2. [◁] または [▷] を押して、“ CENTER FOCUS ” を選ぶ。
3. [▽] を押す。

SFC の効果を出す

SFC はどのソースに対しても設定できます。
SFC には以下のようなモードがあります。
HEAVY：ロックなど。パンチを効かせる。
CLEAR：ジャズなど。高音部を鮮明にする。
SOFT：BGM として聞く。
DISCO：ディスコのような長い残響音。
LIVE：ボーカルにつやをだす。
HALL：大ホールのような音の広がり。
FLAT：効果を出す前の状態。
初期設定は “ **HEAVY** ” です。

本体

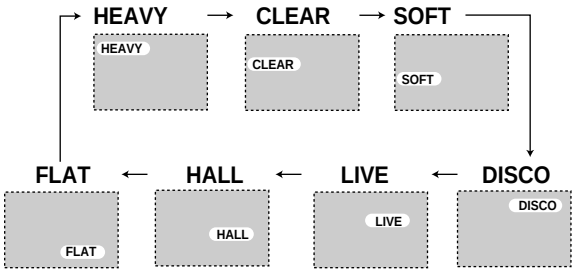
SFC

リモコン

SFC
AUX

押す

押すたびに



■ SFC を解除するには

[SFC] を押して、“ FLAT ” を選ぶ。

●バーチャルリヤサラウンドの効果を出す
●マルチリヤサラウンドの効果を出す
●シートポジションを使う
●センターフォーカスの効果を出す
●SFCの効果を出す

タイマーを使う

本機には 2 つのタイマー機能があります。

- スリープタイマー
  セットした時間になると電源が切れます。
  30、60、90 分の設定ができます。
- ウェイクタイマー
  本機の電源を切ってから一定の時間になると電源が入ります。
  5、7、9 時間の設定ができます。

リモコン

タイマー

押して

SLEEP または **WAKE を選ぶ**

押すたびに

SLEEP ⟶ WAKE ⟶ OFF

スリープタイマーを選んだとき

ウェイクタイマーを選んだとき

タイマー

長押して

時間を設定する

スリープタイマー時は
押すたびに

30 ⟶ 60 ⟶ 90 (分)

ウェイクタイマー時は
押すたびに

5H ⟶ 7H ⟶ 9H (時間)

電源

<u>ウェイクタイマー のみ</u>

押して

電源を切る

■ スリープタイマーの残り時間を調べたい、あるいは、ウェイクタイマーの設定時間を調べたいときは

[タイマー] を押す。

■ タイマーを解除したいときは

[タイマー] を押し、“ OFF ” を選ぶ。

お知らせ

- タイマーは両方同時に使用できません。

一時的に消音するには (ミューティング)

リモコン

消音 **押す**

■ 消音を解除するには

[消音] を押す。または、
音量を最小 “ VOL -- ” にする。

お知らせ

電源を切ると消音は解除されます。

本体の表示窓を消すには

暗い部屋で映画などを鑑賞中に、本機の表示窓を消すことができます。

FLディスプレイ **押す**

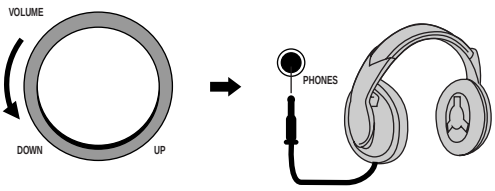
表示窓が消えます。

■ 元にもどすには

[FL ディスプレイ] を押す。

ヘッドホン (別売り) で聞くには

本体



① 音量を下げる。
② “ PHONES ” 端子にヘッドホンを接続し、音量を調整する。
強制的にステレオ (2ch) になります。

ヘッドホン
- プラグタイプ：ステレオ大型 (M6)
- 推奨品：RP-HT400、RP-HT242 (共に別売り)

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

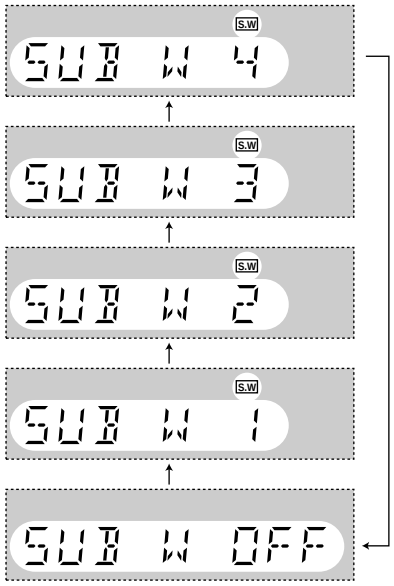
音のエチケット シンボルマーク

低音を調整するには

本体 SUBWOOFER LEVEL

リモコン サブウーハーレベル

押すたびに



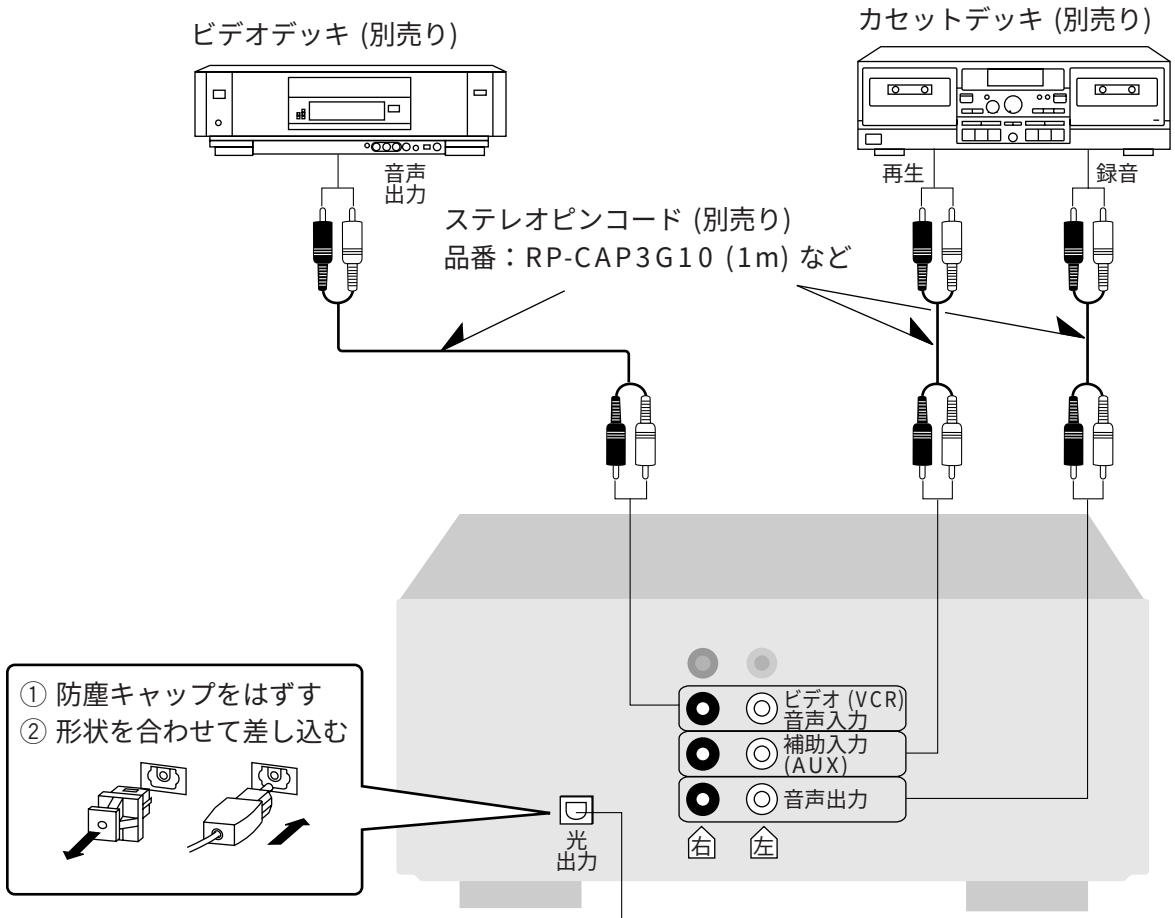
初期設定は “ **4** ” です。

■ 解除するときは

“ OFF ” を選ぶ。

別売りの機器を接続する

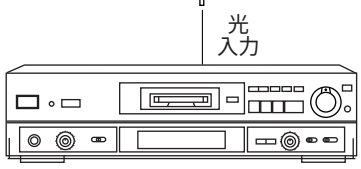
下記は一例です。たとえば、カセットデッキのかわりにミニディスクデッキを接続したり、補助入力端子にアナログプレーヤーや LD プレーヤーを接続したりすることもできます。



オプティカルデジタルケーブル (別売り)
品番：RP-CA2010A (1m) など

または

MD へ録音したいときは



ミニディスクデッキ (別売り)

ドルビーデジタル、dts 方式で記録されたディスクの音声をそのまま、MD デッキなどにデジタル録音することはできません。

dts を楽しみたいときは

デジタルサラウンドプロセッサー (別売り)
または
デコーダー内蔵アンプ (別売り)

dts の音声をお楽しみになる場合は
初期設定のうちデジタル出力の設定を変更する必要があります。(⇒48〜51 ページ)
dts Off → Bitstream にしてください。

アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー (レコードの音声信号を増幅するアンプ) を通して “ 補助入力 (AUX) ” 端子に接続します。そのまま接続すると、音が小さくなります。

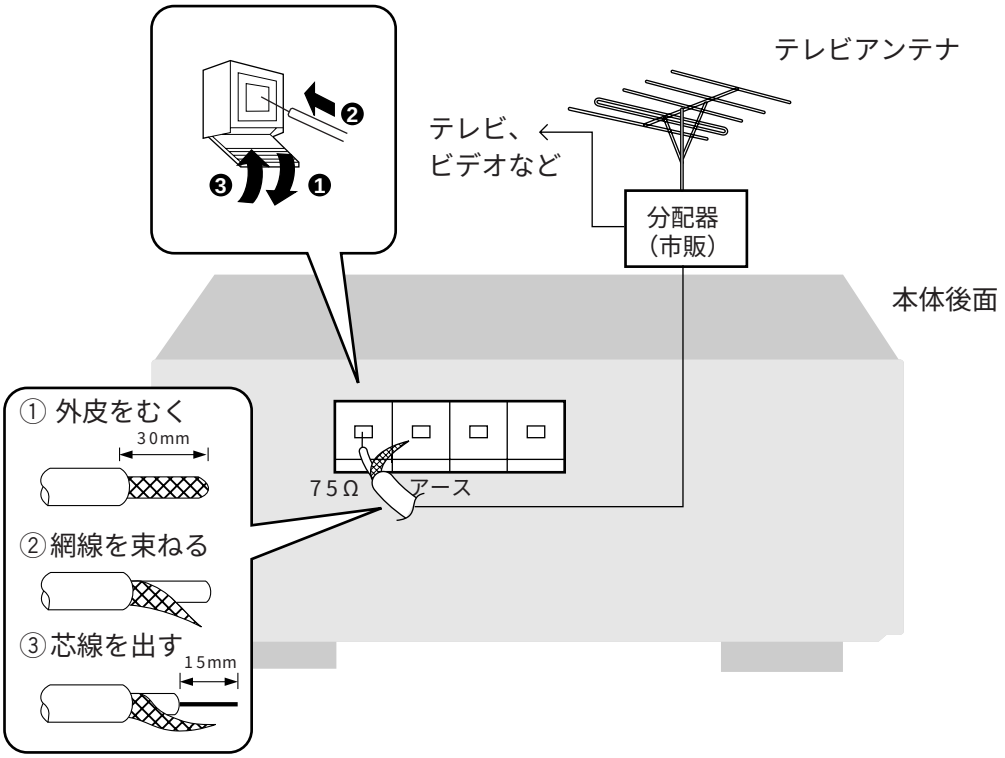
推奨品： アナログプレーヤー：[別売り：品番　SL-J8 (フォノイコライザー内蔵)]
フォノイコライザー：[サービスルート扱い：品番　RFKZ0088KIT]

屋外アンテナを接続する

山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中などで電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

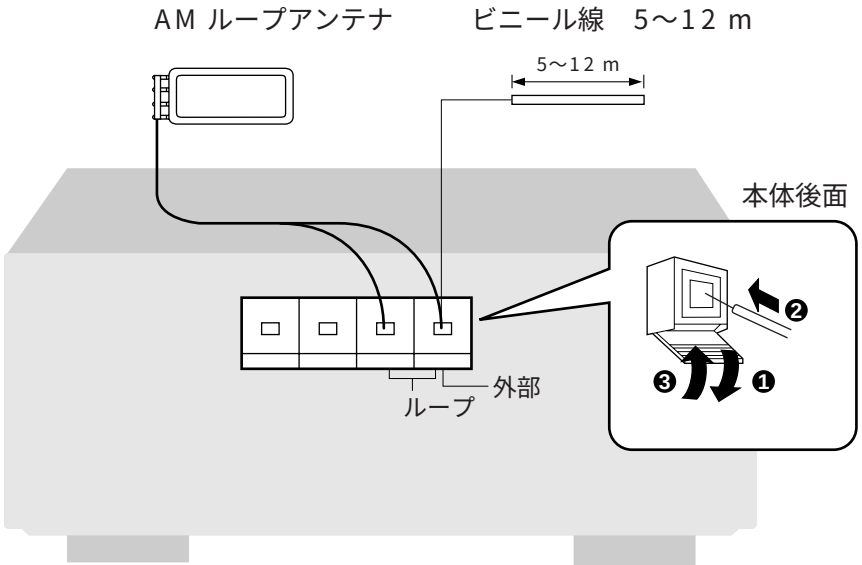
FM (テレビアンテナの利用)

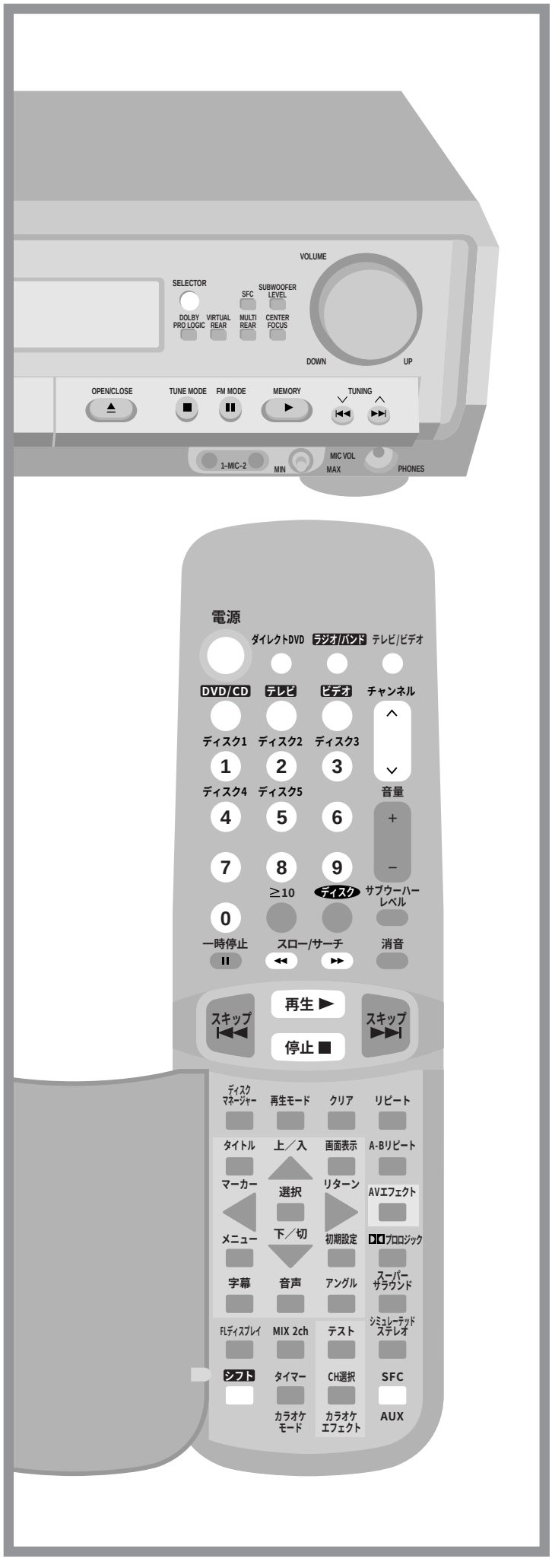
付属の FM アンテナははずしてください。



AM (市販のビニール線)

窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。





外部機器を再生する

本体

SELECTOR

押して

“ TV ”、“ VIDEO ”あるいは“ AUX ”を選ぶ

または

リモコン

テレビ　ビデオ　**押す**

シフト　**押しながら**　SFC / AUX　**押す**

再生を始める

お知らせ

- 外部機器 (カセットデッキ等) でカラオケを楽しむこともできます。

外部機器に録音する

準備：

録音機器の準備をする。(⇒ 44ページ)

本体

SELECTOR

押して

“ DVD/CD ”、“ FM ”あるいは“ AM ”を選ぶ。

または

リモコン

DVD/CD　ラジオ/バンド　**押す**

録音をスタートし、ソースの再生を始める。

お知らせ

- 外部機器 (カセットデッキ等) にはマイクの音は録音できません。
- “ TV ”、“ VCR ”、“ AUX ”の入力を選んでも外部機器には録音できません。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンをテレビ操作モードにする

本機の入力も “ TV ” に切り換わります。

テレビ

押す

電源を入れる

電源

押す

チャンネルを切り換える

チャンネル

押して

チャンネル番号を指定する。

1〜10 ch は数字ボタン [1]〜[0] でも選択できます。(10 ch は [0] で選択します。)

テレビ / ビデオモードを切り換える

テレビ/ビデオ

押す

本機のリモコンでビデオデッキを操作する

リモコンをビデオ操作モードにする

本機の入力も “ VCR ” に切り換わります。

ビデオ

押す

電源を入れる

電源

押す

チャンネルを切り換える

チャンネル

押して

チャンネル番号を指定する。

1〜10 ch は数字ボタン [1]〜[0] でも選択できます。(10 ch は[0] で選択します。)

再生する

再生 ▶

押す

早送り、巻き戻しをする

スロー/サーチ

押す

停止する

停止 ■

押す

ダイレクト DVD ボタンを使う

ダイレクト DVD ボタンを押すだけで、同時に次の操作ができます。

本機の

- 電源が入る。
- 入力切り換えが “ DVD/CD ” になる。
- ディスクが入っている場合は再生が始まる。

テレビの

- テレビ/ビデオ入力が “ ビデオ 2 ” になる。

準備：

- 本機の映像出力をテレビの “ ビデオ 2 ” 端子に接続します。(⇒10 ページ)
- テレビの電源を入れる。

ダイレクトDVD

押す

お知らせ

この機能が使用できるテレビは、1992 年以降に発売を開始した当社の新製品で “ ビデオ 2 ” 端子のあるものです。

- 当社製でもこれ以外のものをお使いの場合はテレビの入力が “ ビデオ 2 ” に切り換わらない場合があります。
- 本機を “ ビデオ 2 ” 端子以外に接続している場合、この機能は使用できません。
- テレビに “ ビデオ 2 ” 端子のない場合には使用できません。

このような場合には左記 “ リモコンでテレビを操作する ” 記載の方法で操作するか、テレビに付属のリモコンをお使いください。

お手持ちのテレビでこの機能が使用できるか確認するには

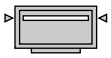
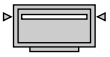
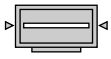
① テレビの電源を入れる。
② テレビの入力を “ ビデオ 2 ” 以外にする。
③ [ダイレクト DVD] を押す。
“ ビデオ 2 ” にならないときは、この機能は使用できません。

お知らせ

- 本機のリモコンで操作できるのは、当社製のテレビ、ビデオのみです。
- 一部の機種では操作できないものもあります。
- リモコンでの誤動作防止のため、テレビ、ビデオ操作後は、[DVD/CD] を押して、リモコンを本体操作モードにしておいてください。

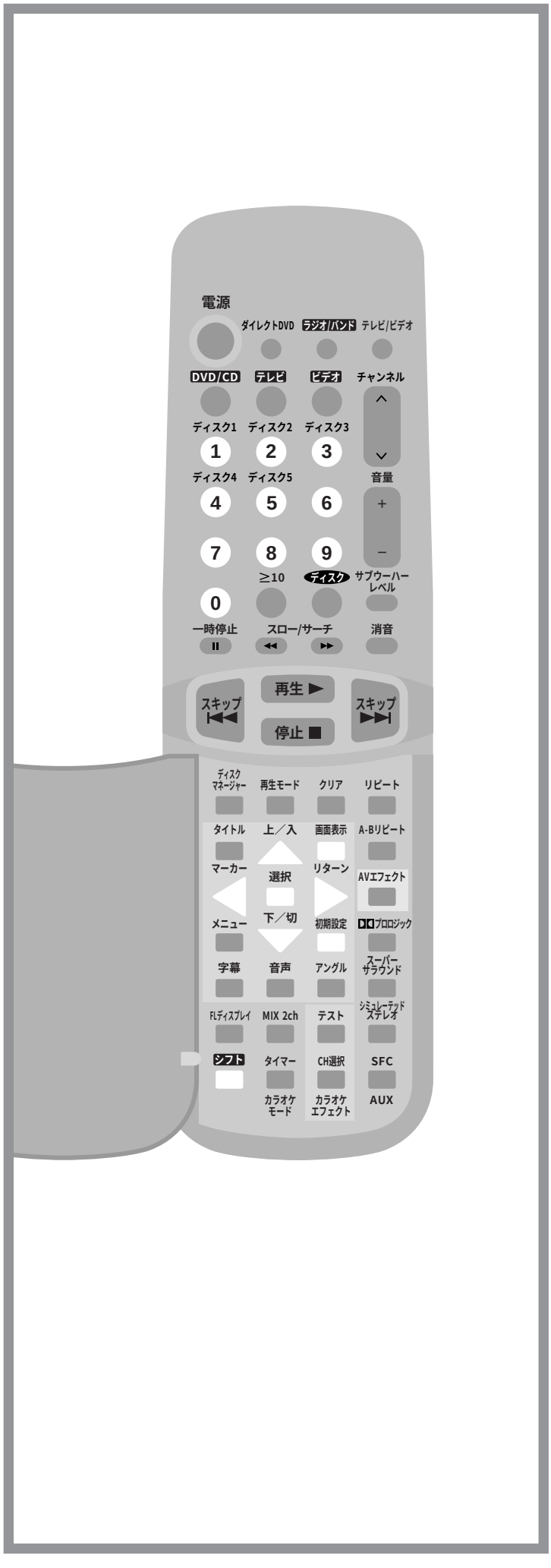
初期設定一覧

本システムの初期設定は以下のようになっています。
この設定は、接続するテレビ画面についての設定 (⇒ 11 ページ) さえ行なっていただければ、特に変更する必要はありません。(本機には 8 の項目はありません。)

項目	初期設定		変更可能な設定
1 ディスク言語	1 音声言語	1 日本語	1 日本語 2 英語 3 オリジナル 4 その他　＊＊＊＊
	2 字幕言語	1 オート	1 オート 2 日本語 3 英語 4 その他　＊＊＊＊
	3 メニュー言語	1 日本語	1 日本語 2 英語 3 その他　＊＊＊＊
2 視聴制限	8 すべて視聴可		8 すべて視聴可 ～ 0 すべて不可 7 ～ 0 設定時には暗証番号を設定 暗証番号の変更も可
3 画面メニュー言語	1 日本語		1 日本語 2 English
4 オンスクリーン	1 画面メッセージ	1 入	1 入 2 切
	2 色と位置	1 青色 	1 青色  4 青色 2 紫色 5 紫色  3 緑色 6 緑色
5 接続する TV	1 4:3		1 4:3 2 16:9
6 デジタル出力	1 LPCM 96 kHz-48 kHz 変換	1 しない	1 しない 2 する
	2 Dolby Digital	1 Bitstream	1 Bitstream 2 PCM
	3 dts	1 Off	1 Off 2 Bitstream
7 スピーカー設定	センターディレイタイム	0 ms	0 ms　3.9 ms 1.3 ms　5.3 ms 2.6 ms
	サラウンドディレイタイム	0 ms	0 ms　10.6 ms 5.3 ms　15.9 ms
9 エキスパート設定	1 スチルモード	1 オート	1 オート 2 フィールド 3 フレーム
	2 早送り 1 の時の音	1 あり	1 あり 2 なし
	3 TV モード (4:3)	1 パン＆スキャン	1 パン＆スキャン 2 レターボックス
	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	1 切	1 切 2 入
	5 I/P/B インジケーター	1 しない	1 しない 2 する

初期設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。元に戻したい場合は再度設定を仕直す必要があります。

	設定内容
	スピーカーから出力される音声言語の種類を設定 (ただし、ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。)
	テレビに表示される字幕言語の種類を設定 (ただし、ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。)
	タイトルメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	DVD ソフトの視聴制限のレベルを設定 (ただし、ソフトに記録されていることが条件。ディスクに “ 視聴制限設定付属 ” 等の記載あり。) レベル 8 すべてのソフトを再生 レベル 7 ～ レベル 1 一部の DVD ソフトの再生禁止 (どのレベルになるかはソフトの記録による。) レベル 0 全ての DVD ソフトの再生を禁止
	初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される “ 再生 ” などの言語の設定
	“ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示を常にテレビ画面に表示するかしないかを設定
	“ 再生 ” や “ 停止 ” などの表示および GUI 画面/カラオケ GUI 画面の色と表示位置を設定
	接続するテレビの画面サイズ (4:3 または 16:9) を設定
	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
	センタースピーカーとサラウンドスピーカーのディレイタイム (遅延時間) を設定
	静止中の画面に発生する画像のブレ、小さな文字や細かい絵柄の見え方を設定 フィールド：静止画面を常にブレないようにするとき フレーム：静止画面を常にはっきりさせたいとき
	早送り 1 の時の音声の有無を設定
	4:3 サイズのテレビを接続している時、ワイドで記録されたソフトを再生したときにテレビ画面にどのように表示されるかを設定
	ソフト再生時の音域を設定 (ドルビーデジタルのみ) DVD のダイナミックレンジ (音量の大小の差) を少なくすることができる。
	静止時に、DVD の画像の種類 (I/P/B) をテレビ画面に表示するかしないかを設定



初期設定を変更するには

停止中に

リモコン

初期設定

押して
初期設定画面を表示させる

上／入

下／切

押して
変更したい項目を選ぶ

選択

押す

上／入

下／切

押して
選ぶ

画面の指示に従って、
繰り返し好みの設定にする
(何回繰り返すかは設定項目によります)

選択

押す

お知らせ

- 各項目の前に、数字が記載がある場合は、その数字ボタンを押しても選択できます。
- 「2　視聴制限」で、レベル 0 の「すべて不可」に変更されている場合、DVD ディスクが入った状態では、初期設定のすべての項目が変更できません。DVD ディスクを取り出してから、操作を行なってください。

■ 前の画面に戻るには

リモコン

シフト 押しながら 画面表示 リターン **押す**

- 画面に “ 0 終了 ” の表示があれば

下／切 押して **“ 0 終了 ” を選び**

選択 **押す**

■ 視聴制限の設定で暗証番号を入力するときは

リモコン

ディスク1 1 ディスク2 2 ディスク3 3
ディスク4 4 ディスク5 5 6
7 8 9
0

押して **4 桁の数字を入力する。**

■ 初期設定画面を終了させるには

初期設定画面で

リモコン

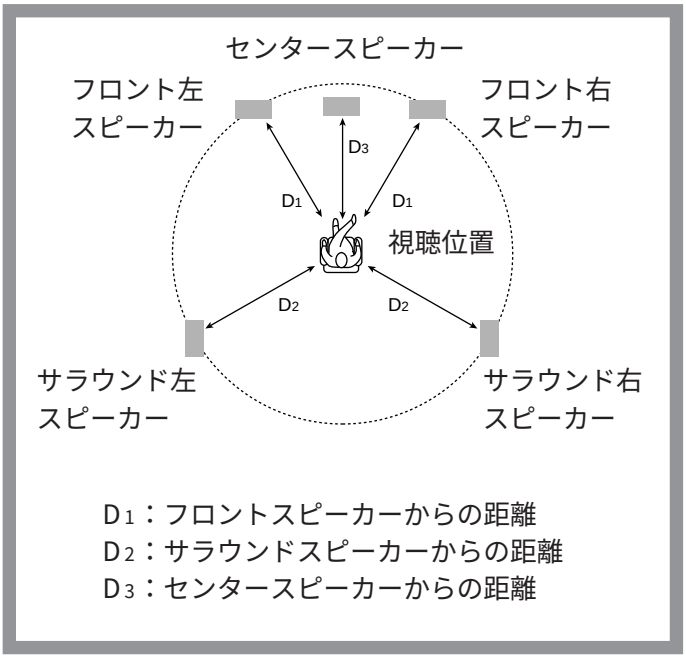
下／切 押して **“ 0 終了 ” を選び**

選択 **押す**

言語コード一覧

6565：アファル	7089：フリジア	7771：マダガスカル	8386：スウェーデン
6566：アプハジア	7165：アイルランド	7773：マオリ	8387：スワヒリ
6570：アフリカーンス	7168：(スコットランド) ゲール	7775：マケドニア	8465：タミル
6577：アムハラ	7176：ガリチア	7776：マラヤーラム	8469：テルグ
6582：アラビア	7178：グアラニー	7778：モンゴル	8471：タジク
6583：アッサム	7185：グジャラト	7779：モルダビア	8472：タイ
6588：アイマラ	7265：ハウサ	7782：マラッタ	8473：ティグリニア
6590：アゼルバイジャン	7273：ヒンディー	7783：マライ (マレー)	8475：トルクメン
6665：バシキール	7282：クロアチア	7784：マルタ	8476：タガログ
6669：ベロルシア (白ロシア)	7285：ハンガリー	7789：ビルマ	8479：トンガ
6671：ブルガリア	7289：アルメニア	7865：ナウル	8482：トルコ
6672：ビハール	7365：インターリングア	7869：ネパール	8484：タタール
6678：ベンガル (バングラ)	7378：インドネシア	7876：オランダ	8487：トウイ
6679：チベット	7383：アイスランド	7879：ノルウェー	8575：ウクライナ
6682：ブルターニュ	7384：イタリア	7982：オーリヤ	8582：ウルドゥー
6765：カタロニア	7387：ヘブライ	8065：パンジャブ	8590：ウズベク
6779：コルシカ	7465：日本語	8076：ポーランド	8673：ベトナム
6783：チェコ	7473：イディッシュ	8083：パシュト	8679：ヴォラピュック
6789：ウェールズ	7487：ジャワ	8084：ポルトガル	8779：ウォロフ
6865：デンマーク	7565：グルジア	8185：ケチュア	8872：コーサ
6869：ドイツ	7575：カザフ	8277：レトロマンス	8979：ヨルバ
6890：ブータン	7576：グリーンランド	8279：ルーマニア	9072：中国語
6976：ギリシア	7577：カンボジア	8285：ロシア	9085：ズールー
6978：英語	7578：カンナダ	8365：サンスクリット	
6979：エスペラント	7579：韓国 (朝鮮) 語	8368：シンド	
6983：スペイン	7583：カシミール	8372：セルボクロアチア	
6984：エストニア	7585：クルド	8373：シンハラ	
6985：バスク	7589：キルギス	8375：スロバキア	
7065：ペルシア	7665：ラテン	8376：スロベニア	
7073：フィンランド	7678：リンガラ	8377：サモア	
7074：フィジー	7679：ラオ	8378：ショナ	
7079：フェロー	7684：リトアニア	8379：ソマリ	
7082：フランス	7686：ラトビア (レット)	8381：アルバニア	
		8382：セルビア	
		8385：スンダ	

ディレイタイムの算出方法



スピーカーを置く位置によって、各スピーカーから音が届くタイミングが異なります。この差を補正するために、センターとサラウンドスピーカーから音が届くまでの時間 (ディレイタイム) を調整します。

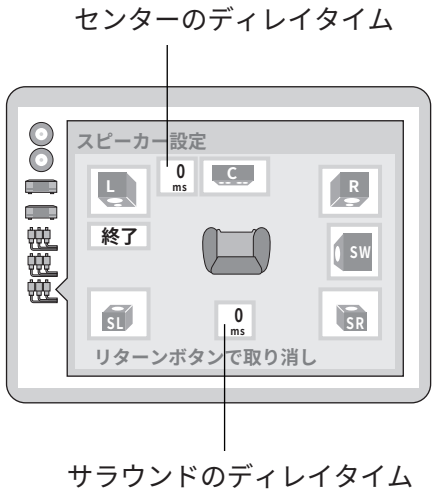
センタースピーカーのディレイタイム

$D_1 \leqq D_3$		0 ms
$D_1 > D_3$	約 50 cm のとき	1.3 ms
	約 100 cm のとき	2.6 ms
	約 150 cm のとき	3.9 ms
	約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドスピーカーのディレイタイム

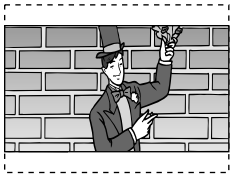
$D_1 \leqq D_2$		0 ms
$D_1 > D_2$	約 200 cm のとき	5.3 ms
	約 400 cm のとき	10.6 ms
	約 650 cm のとき	15.9 ms

スピーカー設定のテレビ画面



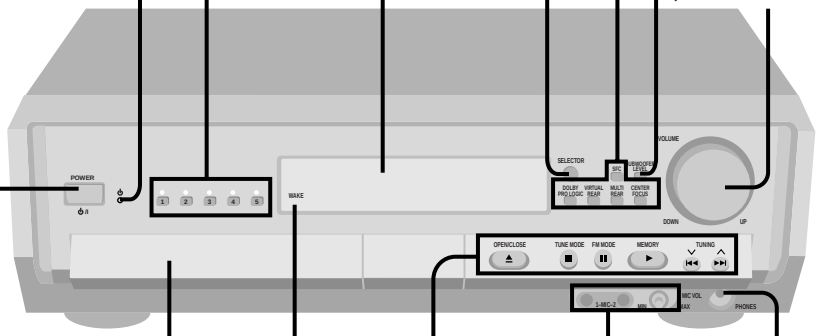
テレビ画面一覧

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ (画質モード) との関係で以下の画面になります。

テレビ (画質モード) / ソフト	4：3	16：9 (フルモード)	16：9 (ズームモード)	16：9 (オートモード)
ワイドソフト (パン＆スキャン指定あり)	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面 	フル画面
ワイドソフト (パン＆スキャン指定なし)	レターボックス (上下に黒い帯)			
4：3 のソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面 (左右に黒い帯)
4：3 のソフト (レターボックス)	レターボックス (上下に黒い帯)	左右にのびた画面 (上下に黒い帯)	フル画面	左右両端がのびた画面 (上下に黒い帯)

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側 (または片側) をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。
- レターボックスとは、ワイド (16：9) のソフトを再生するときに、画面サイズの不足分を埋めるために、画面の上下に黒帯を入れたものです。

操作部



5 DISC (ディスク) 1〜5 (ディスク選択) ボタン
(⇒ 13 ページ)

⏻ (スタンバイ) ランプ
電源コードを接続すれば「赤色」点灯
電源を入れれば「緑色」点灯

POWER (電源) ボタン
(⇒ 11 ページ)

音質、音場効果ボタン
(⇒ 38〜41 ページ)

SELECTOR (セレクター) (入力選択) ボタン (⇒ 13 ページ)

SUBWOOFER LEVEL (サブウーハーレベル) ボタン
(⇒ 43 ページ)

表示窓

VOLUME (ボリューム) (音量調整) つまみ
(⇒ 13 ページ)

ディスクトレイ

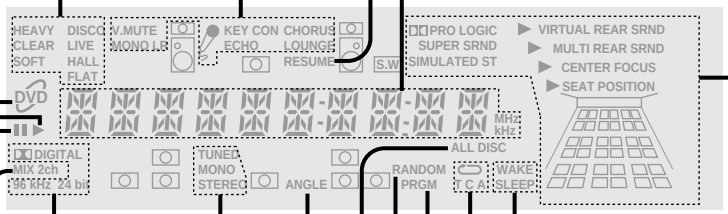
WAKE (ウェイク) (ウェイクタイマー) ランプ
(⇒ 42 ページ)

基本操作ボタン

MIC 1、2 端子、MIC (マイク) VOL (マイク音量調整)
(⇒ 14、15 ページ)

PHONES (ホーンズ) (ヘッドホン) 端子 (⇒ 43 ページ)

表示部



SFC モード表示
(⇒ 41 ページ)

RESUME (リジューム) (続き再生メモリー機能) 表示
(⇒ 18 ページ)

DVD ディスク表示
(⇒ 13 ページ)

カラオケ表示
(⇒ 16、17 ページ)

各操作に共通の表示部

音場表示
(⇒ 38〜41 ページ)

再生表示
(⇒ 13 ページ)

一時停止表示
(⇒ 19 ページ)

タイマー表示
(⇒ 42 ページ)

MIX (ミックス) 2ch 表示
(⇒ 39 ページ)

ラジオ関連表示
(⇒ 33 ページ)

リピート表示
(⇒ 21 ページ)

DVD ディスク信号表示
(⇒ 13 ページ)

アングル表示
(⇒ 25 ページ)

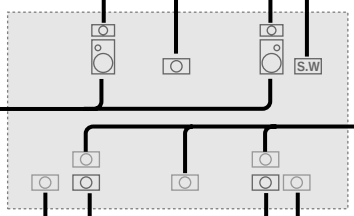
プログラム表示
(⇒ 27 ページ)

ランダム表示
(⇒ 26 ページ)

オールディスク表示
(⇒ 27 ページ)

S.W
これらはスピーカーの表示です。

■ スピーカー表示について



センタースピーカー (青色)

サラウンドスピーカー (青色)
(バーチャルリヤサラウンド時に点灯)
(⇒ 40 ページ)

フロントスピーカー (青色)

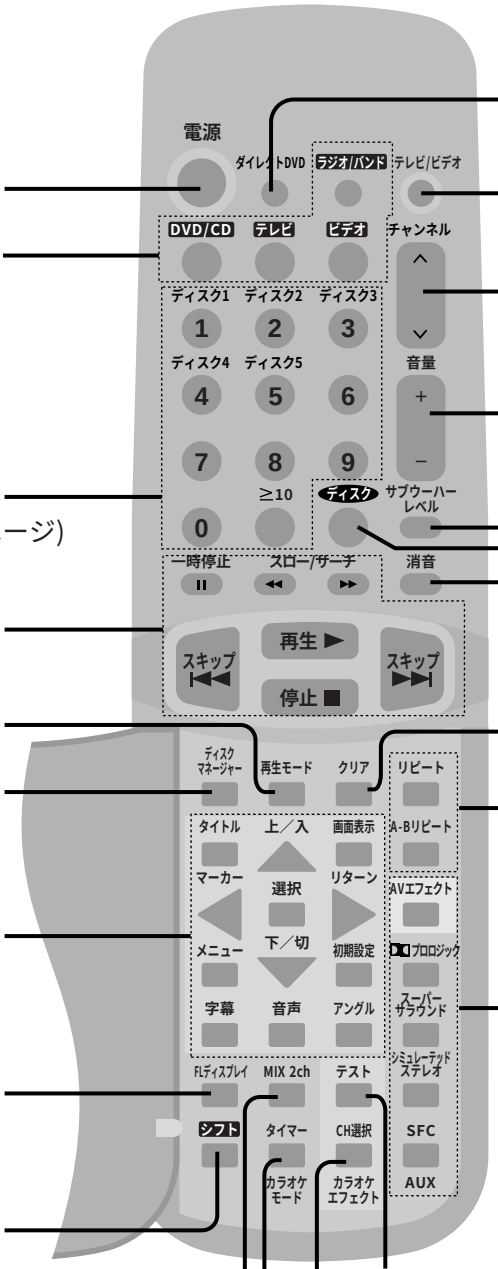
サラウンドスピーカー (青色)

サブウーハー (青色)
(⇒ 43 ページ)

サラウンドスピーカー (オレンジ色)
(マルチリヤサラウンド時に点灯)
(⇒ 40 ページ)

サラウンドスピーカー (オレンジ色)
(バーチャルリヤサラウンド時に点灯)
(⇒ 40 ページ)

リモコン



電源ボタン

ラジオ/バンド～ビデオ (入力切り換え) ボタン
ラジオ/バンドボタンはバンドを切り換える際にも使用します。

1～0、≥10 (数字) ボタン (⇒ 11,13,15 ページ)

基本操作ボタン

再生モードボタン (⇒ 26 ページ)

ディスクマネージャーボタン (⇒ 27 ページ)

ディスク操作ボタン

FL ディスプレイ (表示窓消灯) ボタン (⇒ 43 ページ)

シフトボタン (⇒ 16 ページ)

ダイレクト DVD ボタン (⇒ 47 ページ)

テレビ/ビデオ (切り換え) ボタン (⇒ 47 ページ)

チャンネル切り換え (⇒ 35 ページ)

音量 (調整) ボタン

サブウーハーレベル (調整) ボタン (⇒ 43 ページ)

ディスクボタン (⇒ 13,15, 26 ページ)

消音ボタン (⇒ 43 ページ)

クリア (取消し) ボタン (⇒ 22 ページ)

リピートボタン (⇒ 21 ページ)

音質、音場効果ボタン (⇒ 38～41 ページ)
SFC, AUX ボタンは AUX に入力を切り換える際にも使用します。

テストボタン (⇒ 38 ページ)

CH 選択、カラオケエフェクトボタン (⇒ 17, 39 ページ)

タイマー、カラオケモードボタン (⇒ 16, 42 ページ)

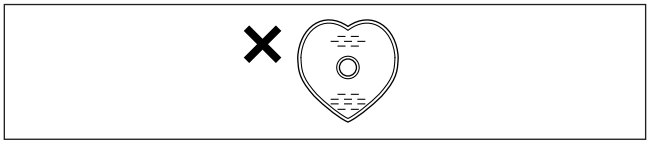
MIX (ミックス) 2ch ボタン (⇒ 39 ページ)

青色が点灯	実際に音の出ているスピーカーを示します。
青色が点滅	出力レベル調整中のスピーカーを示します。
オレンジ色が点灯	仮想のスピーカー あたかもそこにスピーカーがあるかのように聞こえます。

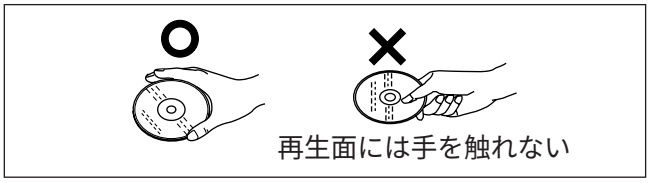
ディスクについて

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因になります。)

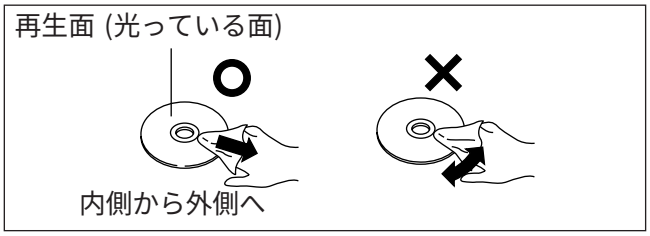


■ 持ちかた



■ 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



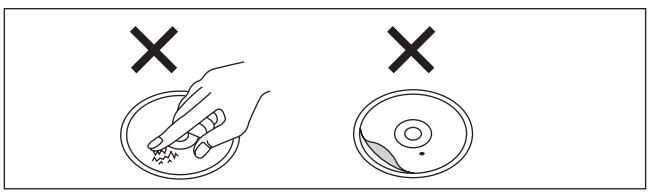
■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない



ディスクの保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

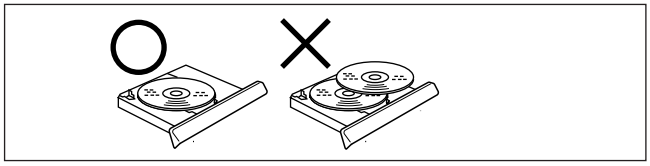
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

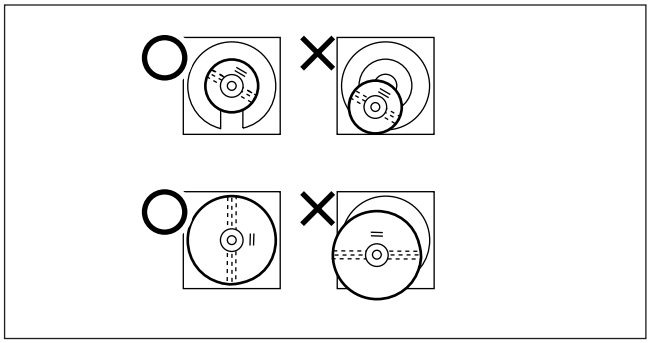
1. ディスクをすべて取り出す
2. [POWER] を押して電源を切る
3. 電源プラグを抜く

ディスクメカの故障防止のために

- トレイには、1 枚のディスクを入れる



- ディスクは、図の位置に正しく置く
- シングルディスク (8 cm ディスク) アダプターを使わない
- 水平なところで使用する。本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない



主な仕様

■ アンプ部

実用最大出力　総合出力　300 W
(1 kHz、全高調波ひずみ率　10 %、6 Ω)
フロント L/R、センター、サラウンド L/R
36 W×5
サブウーハー　120 W
定格出力　総合出力　240 W
(1 kHz、全高調波ひずみ率　1 %、6 Ω)
フロント L/R、センター、サラウンド L/R
30 W×5
サブウーハー　90 W
入力感度/入力インピーダンス
AUX　250 mV/10 kΩ
MIC　0.7 mV/600 Ω

■ FM チューナー部

受信周波数帯　76.0～90.0 MHz
(100 kHz ステップ)
実用感度　16.3 dBf (1.8 µV、IHF ’ 58)
アンテナ端子　75 Ω (不平衡型)

■ AM チューナー部

受信周波数帯　522～1629 kHz
(9 kHz ステップ)
実用感度 (S/N 20 dB)　500 µV/m

■ ディスク部

<ディスク>
DVD VIDEO
8 cm/12 cm　片面、1 層
8 cm/12 cm　片面、2 層
8 cm/12 cm　両面、2 層 (1 層/片面)
CD/ビデオCD　8 cm/12 cm
<ビデオ>
信号方式　NTSC
出力レベルコンポジットビデオ
1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　Y　1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　C　0.286 Vp-p (75 Ω) (NTSC)
<オーディオ>
標本化周波数
CD　44.1 kHz
DVD　48 kHz/96 kHz
量子化　16/20/24 ビット直線
ワウ・フラッター　測定限界以下
デジタルフィルター　8 fs
D/A コンバーター　デルタ-シグマ DAC
ピックアップ　光源：半導体レーザー
波長：665 nm

■ 本体総合

電源　AC 100V　50/60 Hz
消費電力　172 W
寸法 (幅×高さ×奥行)　430×136×400 mm
質量　約 8.6 Kg

■ スピーカー部

<SB-AFC80-S>
(フロント L/R、センター、サラウンド L/R)
形式
1 ウェイ　スピーカーシステム　バスレフ型
フルレンジ　8 cm コーン
インピーダンス　6 Ω
許容入力　60 W (ミュージック)/30 W (DIN)
出力音圧レベル　79 dBw (1.0 m)
再生周波数帯域　80 Hz～22 kHz (−16 dB)
110 Hz～20 kHz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)　88×158×105 mm
質量　約 0.8 Kg

<SB-W80-S> (サブウーハー)
形式
1 ウェイ　スピーカーシステム　バスレフ型
ウーハー　17 cm コーン
インピーダンス　6 Ω
許容入力　180 W(ミュージック)/90 W(DIN)
出力音圧レベル　80 dBw (1.0 m)
再生周波数帯域　41 Hz～1.8 kHz (−16 dB)
45 Hz～1.6 kHz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)　200×450×300 mm
質量　約 5.9 Kg

電源ボタンスタンバイ⏻時の消費電力 0.25 W

注)
1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

必要なとき

用語解説

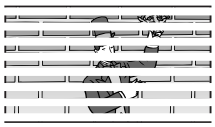
映像についての用語

フレーム

動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ (静止画像)を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド

1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。



1 フィールド

フレームスチル/フィールドスチル

動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、 2 フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B

DVD で採用されている映像方式 MPEG 2 では、1 画面 (フレーム) を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。
I: I-Picture (フレーム内符号化)
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。
P: P-Picture (前方向予測符号化)
過去の Picture (I または P) から算出される画面。
B: B-Picture (両方向予測符号化)
前後の Picture (I または P) の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

デジタル音声ついての用語

デコーダー

DVD などに符号化して記録した音声データーを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

dts (digital theater systems)

DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数

サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1 つ 1 つの波の高さを数値化すること。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

リニア PCM (Pulse Code Modulation)

音楽 CD などで一般に使用されているデジタル信号方式。DVD ディスクは容量が多いため、CD 以上のサンプリング周波数を用いたリニア PCM 信号を収録することができます。

Bitstream (ビットストリーム)

5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック

CD、ビデオ CD の小さな区切り。

チャプター

DVD ビデオの小さな区切り。CD などのトラックに当たります。

タイトル

DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール (PBC)

バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。	現在、アンプの “ フォノ ” または “ プレーヤー ” 端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ (サービスルート扱い) が必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	44
	有線放送を接続したい。	本機の “ 補助入力 (AUX) ” に接続します。	44
	他のスピーカーを接続したい。	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、音の特性などが悪くなるほか、故障の原因にもなります。	—
ディスクについて	dts で記録されたディスクを再生したい。	本機には dts デコーダーを搭載しておりません。 本機の “ 光出力 ” に別売りのデコーダーを接続してお楽しみください。	44
	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい。	DVD ビデオディスクにはリージョン番号があり、プレーヤーとその番号が合致していないと再生できません。 また、PAL 方式で記録されているディスクは再生できません。	2, 7
	DVD の映画をビデオにダビングしたい。	ほとんどの DVD ディスクにはコピーガードがかけてあり、ダビングすることはできません。	—
その他	引っ越しするのだが、そのまま使えるか。	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	SUBWOOFER（サブウーハー）が効かないが。	SUBWOOFER は、そのソフトに含まれている低音の成分によって効果が異なります。また、ヘッドホンでは十分な効果で聞くことはできません。	—
	長時間使用していると本体が熱くなるが大丈夫か	大丈夫です。 ただし、本体の上に物を置いて放熱を妨げることはしないでください。特に、通風孔はふさがないでください。	—

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
システム全体に共通	電源が入らない	● 電源プラグが抜けていないか確認してください。	10
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME］で調整してください。	13,15
		● ミューティング（消音）になっていないか確認してください。	43
		● スピーカーが正しく接続されているか確認してください。	8
	音の位置が定まらない。または左右が逆になる。	● スピーカーコードの (右) (左) ㊉ ㊀ を確認し、正しく接続してください。	8
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る。	● 電気器具の電源コードや蛍光灯が本機の近くにある場合は、離してください。	ー
	演奏中に音が出なくなった。	● スピーカーコードがショートしていませんか。その場合はいったん本機の電源を切り、接続を直してからもう一度電源を入れてください。	8
	パネルの照明が消えている。	● リモコンの［FL ディスプレイ］を押して表示窓を点灯させてください。	43
	“ ERROR ” 表示が出る。	● 間違った操作をしたためです。もう一度、操作方法を確かめてください。	ー
	“ F61 ” 表示が出る。	● スピーカーコードがショートしていないか確認してください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。	8
	サブウーハから音が出ない。	● サブウーハーが “ OFF ” になっていないか確認してください。	43
	5.1 ch サラウンドのソフトを再生しているのに、センターやサラウンドスピーカーから音が出ない。	● マイクを接続していませんか。 マイクを接続していると、強制的にステレオ（2 ch）になり、センターやサラウンドスピーカーから音がでません。	14
ラジオ	FM がよく受信できない。雑音やひずみが多い。	● FM 簡易型アンテナの向きや位置を変えてみてください。	10
		● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。	ー
		● 送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。テレビのアンテナを利用したり、また、音にひずみが多い場合は、より高感度のアンテナが必要になる場合もあります。	45
	AM がよく受信できない。雑音が多い。	● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。	10
		● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。	ー
		● アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。	ー
		● 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	45

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
ディスク	演奏できない。 ディスクを入れても曲数などが表示されない。	● ディスクが表裏逆に入っていませんか。 ● 規格外のディスクを使っていませんか。 ● ディスクがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。 ● 寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	13,15 56 56 ー
	特定の箇所が演奏できない。	● ディスクが汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	56
	CD を再生しようとしたが雑音しか出ない。	● ディスクを確認してください。 dts の CD の可能性があります。本機では dts の音声は再生できません。別売りのデコーダーが必要です。	44
	“ DTS NO AUDIO ”の表示が出る。	● 本機では dts の音声は再生できません。別売りのデコーダーが必要です。	44
	“ DVD U11 ”の表示が出る。	● ディスクが汚れています。柔らかい布でふいてください。	56
	“ DVD H□□ ”の表示が出る。	● トラブルが生じました。電源を切ってから、電源プラグも抜いてください。しばらくしたら、もう一度、電源プラグを差し込み、正常に動作するか、確かめてください。 それでも、直っていない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	ー
	“ DISC/TAKE OUT ”の表示が出る。	● トラブルが生じました。トレイが自動的に開きますので、ディスクを取り出して、トレイを閉じてください。 しばらくの間、ディスクをチェンジしている音がしますが、すぐに正常に戻ります。	ー
	視聴制限の暗証番号を忘れた	● 停止状態で、本体の［■］を押しながら、リモコンの［≥10］を押す。 表示窓に “ INITIALIZE ”の文字が表示され、テレビ画面には “ オールクリア ”と表示されます。	ー
	初期設定で変更した好みの言語や字幕にならない	● 初期設定を変更して音声言語や字幕言語にある種の設定をしても、ディスクにそれらについての優先に関する情報の記録がある場合は、それに従うため、好みの設定どおりにならない場合があります。	48 49
リモコン	リモコンが働かない。	● 乾電池の ㊉ ㊀ が逆に入っていませんか。 ● 本機との間に障害物はありませんか。 ● 電池が消耗している場合は、新しい電池と取り替えてください。 ● テレビやビデオの操作モードになっていませんか。 ［DVD/CD］を押して、本機の操作モードにしてください。	6 6 ー 47

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

60～61ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、DVD ホームシアターサウンドシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料）

パナは 365日 **0120-878-365**

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151
帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

東北地区

青森 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (0177)39-9712
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120
宮城 仙台市泉区市名坂字清水端59-2 ☎ (022)375-2512
山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
福島 福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2551
群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎ (027)352-1109
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (0298)64-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)729-2102
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5450-7431
山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎ (0552)22-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)840-3155
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-7725

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)58-0073
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225
岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部町6丁目2-1 ☎ (077)582-5021
京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎ (075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225
奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎ (0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (0734)75-1311
兵庫 神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎ (0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629
岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
山口 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎ (0839)86-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (0886)98-1125
高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (0888)66-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎ (0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎ (0985)85-6530
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0999

スピーカーについてのお知らせ

- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム <防磁設計 (EIAJ)> ですが、設置の仕方によっては、テレビに色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15〜30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが起こるような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

※<防磁設計 (EIAJ)> とは (社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

別売り品の品番は、1999年8月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

Panasonic DVD ホームシアターサウンドシステム SC-HT80 取扱説明書

愛情点検　長年ご使用の DVD ホームシアターサウンドシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。
● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある		

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎(　　)　—	品番	SC-HT80
お客様ご相談窓口	☎(　　)　—	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社)　1999

RQT5201-1S
H0999HM1099 (D)